

一般演題

11月19日（木）

第3会場（福岡国際会議場 2F 201+202）

1 11月19日（木） 13:20～14:30 看護①

【座 長】中西恵美 橋本病院 医療安全管理部 副主任 看護師

【評価者】吉村愛子 イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院 師長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
1-1	清川 明美	看護師	栃木県	宇都宮中央病院	死後のシャワー浴に対する看護職員の捉え方と関連要因の調査
1-2	大場 有紀子	看護師	静岡県	静岡徳洲会病院	胃瘻造設患者に対する術前訪問の導入
1-3	土江 瞳	看護師	島根県	出雲市立総合医療センター	長期療養患者に対する経管栄養 1 日 2 回注入導入の効果—患者負担軽減と身体的拘束最小化の検討—
1-4	岩本 真耶	看護師	北海道	花川病院	人生最終段階において家族との対話を通じ、生き方を再考するに至った一時例
1-5	鬼塚 杏奈	看護師	鹿児島県	国分中央病院	一般輸液における血管外漏出予防を目的としたフローチャート活用の効果
1-6	村上 由美	看護師	山口県	光市立大和総合病院	終末期高齢患者における経口摂取中止に至るプロセスの検討—診療録の質的帰納的分析—
1-7	武井 美幸	看護師	群馬県	内田病院	看護スタッフ主導の日中離床促進プログラムが患者の離床時間および食事量に与える影響

2 11月19日（木） 14:30～15:40 看護②

【座 長】安本友子 豊中平成病院 看護部 関西エリア部長 看護師

【評価者】山田晴之 桜ヶ丘病院 訪問看護ステーション 主任 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
2-1	高塚 恵介	看護師	静岡県	掛川東病院	回復期リハビリテーション病棟における退院支援カンファレンスへの患者意向の反映
2-2	田中 千夏	介護福祉士	岡山県	柴田病院	急変時看取りマニュアル整備によるスタッフの心理反応～ストレス緩和及びマニュアル化の有効性～
2-3	岡本 珠里奈	看護助手	静岡県	静岡徳洲会病院	浴槽入浴を実現するための環境整備～安全で快適な入浴環境づくりへの取り組み～
2-4	中村 かおり	看護師	北海道	札幌西円山病院	患者中心ケアを部署文化として育む管理実践～師長による患者中心ケアの言語化と主任との協働を通して～
2-5	安積 明日香	看護師	大阪府	坂本病院	療養型病院での腹臥位ケア導入・定着にむけての取り組み
2-6	溝口 理恋	看護師	三重県	花の丘病院	嚥下障害を有する患者の看護と KT バランスチャートを活用した考察
2-7	山本 陽介	看護師	大阪府	堺平成病院	慢性期病院における RRS 導入に向けた現状と課題

3 11月19日 (木) 15:40～16:50 看護③

【座 長】山崎郁子 南昌病院 総看護師長 看護師

【評価者】大谷祐之 富家病院 地域総合診療 専門研修指導医 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
3-1	田中 千春	看護師	北海道	定山溪病院	慢性期病院における医療的ケア児受け入れ前後の看護職の意識変化
3-2	村井 祐介	看護師	群馬県	駒井病院	統合失調症・認知症患者の転倒予防に向けた取り組み
3-3	寺岡 咲葵	看護師	東京都	竹川病院	患者が持つ回復能力を最大限に発揮できるように生活環境を整えることを意識した看護介入
3-4	榊原 彩美	看護師	佐賀県	順天堂病院	療養病床での肺炎予防に対するパーカッションラップの効果～肺炎を繰り返していた1症例の検討～
3-5	樋口 留里子	看護師	福岡県	久英会クリニック	関連施設職員の節目健診結果からみた健康課題と健康支援の方向性
3-6	山口 将大	看護師	東京都	ねりま健育会病院	攻めのリハビリを基盤とした、パーキンソン病を合併した脳梗塞患者の在宅退院に向けた看護介入
3-7	村岡 あかね	看護師	島根県	加藤病院	新築移転を契機とした看護提供体制の再構築～退院支援の質向上への取り組み～

4 11月19日 (木) 16:50～18:00 看護④

【座 長】津留崎孝義 新古賀リハビリテーション病院みらい 副看護部長 看護師

【評価者】安達麻美 杉病院 看護部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
4-1	神田 直孝	看護師	埼玉県	イムス埼玉越谷病院 (新越谷病院)	看護補助者の役割再定義と組織改革（中間報告） 指示系統を「上下関係」から「役割分担」へ管理者の意識変容
4-2	武田 恵利香	看護師	福岡県	原病院	脱水を繰り返す患者の水分の促しについて
4-3	島谷 美揮	看護師	東京都	竹川病院	KOMI チャートシステムにおける「持てる力」を生かした家族支援～家に帰りたい思いに寄り添う～
4-4	田中 景子	看護師	愛媛県	松山リハビリテーション病院	音声入力式角度調整ベッド導入が頸髄損傷患者の自己効力感および生活行動に与えた影響
4-5	酒井 鮎美	看護師	福岡県	杉病院	地域包括ケア病棟の看護記録の現状～看護の見える化と連携できる記録の課題～
4-6	佐藤 史華	看護師	東京都	永生病院	自宅退院が困難と思われた患者家族への退院支援～患者への医療的ケアの指導の事例を通して～
4-7	入山 朋恵	看護師	東京都	永生病院	回復期リハビリ病棟看護師の退院支援への取り組みと課題～退院後訪問・退院後電話確認を通して～

5 11月19日（木） 13:20～14:40 身体拘束廃止①

【座 長】岡純子 高良台コミュニティホスピタル 看護部 マネジャー 看護師

【評価者】山根真彦 島の病院おおたに 看護部 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
5-1	田村 未弥	看護師	富山県	西能みなみ病院	身体拘束の最小化を目的としたケアマップ導入の実践と効果
5-2	中津 めい	看護師	和歌山県	宇都宮病院	眠り SCAN®の利用が転倒・転落予防および業務負担に与える影響—早期検知機能に着目した検討—
5-3	長田 尚久	理学療法士	富山県	北陸中央病院	離床 CATCH 導入と多職種連携による身体拘束率低減への取り組み
5-4	長濱 百合	看護師	福岡県	有吉病院	身体拘束ゼロに向けた取り組み～センサーマットの使用目的の明確化と多職種連携による事例検討～
5-5	土井 勝也	看護師	大分県	和田病院	急性期病棟における身体拘束の最小化に取り組んだ看護実践～抑制しない看護を目指して
5-6	大竹 正隆	看護師	新潟県	三条東病院介護医療院	経管栄養チューブの自己抜去を繰り返す患者様への看護ケアの振り返り
5-7	加藤 彩	看護師	愛知県	総合青山病院	ケアミックス病院における身体拘束最小化チーム導入が身体拘束率および転倒転落関連指標に及ぼす影響
5-8	小池 怜	事務職	栃木県	日光野口病院	身体的拘束最小化を病院全体で推進する組織的取り組み—理念を基盤とした組織横断的推進体制の再構築—

6 11月19日（木） 14:40～16:00 身体拘束廃止②

【座 長】大塚昌紀 高良台コミュニティホスピタル 院長 医師

【評価者】高倉美里 博愛介護医療院 師長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
6-1	鈴木 聡美	看護師	愛知県	総合青山病院	療養病棟における身体拘束最小化チーム活動の効果—身体拘束率低減と維持に向けた取り組みの検討—
6-2	水上 美幸	看護師	富山県	光ヶ丘病院	身体拘束最小化は患者の生命予後に影響するのか～死亡退院患者の在院日数からの検討～
6-3	櫻井 沙織	看護師	長野県	上條記念病院	身体拘束解除に向けた取り組み—経鼻栄養チューブ自己抜去予防に対する自作ラトル型把持用具活用の試み—
6-4	足達 眞愛花	看護師	北海道	苫小牧東病院	胃瘻造設術後患者の身体拘束最小化への取り組み
6-5	田村 亜希子	作業療法士	富山県	流杉病院	代替方法を導入し身体拘束ゼロを目指した中期的取り組み～患者の安全性とコストカットを意識して～
6-6	前田 怜子	看護師	兵庫県	北摂中央病院	身体拘束低減を目指した認知症マフ活用とその効果～患者の変化とスタッフ認識より検討～
6-7	赤岩 美香	看護師	神奈川県	JCHO 湯河原病院	身体拘束に頼らない看護の実現に向けて—臨床倫理検討シートを用いたカンファレンスの実践と要因分析—
6-8	松野 真征	看護師	福岡県	田主丸中央病院	本人の意思を引きだすための療養病棟における身体拘束解除の取り組み

7 11月19日（木） 16:00～17:10 身体拘束廃止③

【座長】井口朋子 富家病院 看護部長 看護師

【評価者】塚本晃平 定山溪病院 渉外課 課長 事務職

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
7-1	境 治紀	介護福祉士	富山県	西能みなみ病院	やさしく守るケアへ～身体拘束を減らす予防衣の導入と実践～
7-2	塩田 美佐代	看護師	静岡県	きせがわ病院	身体的拘束ゼロ実現に向けた組織学習の促進～職員の価値観変容と組織文化の醸成～
7-3	鈴木 勇輝	作業療法士	愛知県	小林記念病院	身体拘束低減に向けた行動制限廃止説明同意書の効果～身体拘束とインシデント・アクシデント率の比較～
7-4	木村 むつみ	准看護師	静岡県	掛川北病院	症マフを活用した「抑える看護」から患者らしさを「引き出す看護」へ
7-5	高橋 郁子	看護師	山梨県	恵信リハビリテーション病院	身体的拘束最小化チームの取り組みによるスタッフの意識変容～取り組み前後のアンケート調査の比較～
7-6	鈴木 佳貴	看護師	茨城県	志村大宮病院	地域包括医療病棟における身体拘束患者の特徴と解除要因の検討
7-7	小坂 尚志	理学療法士	茨城県	牛尾病院介護医療院	介護医療院における身体拘束低減に向けた「認知症マフ」導入の効果と職員の意識変容に関する検討

8 11月19日（木） 17:10～18:20 身体拘束廃止④

【座長】中村由紀江 有吉病院 看護師

【評価者】小林奈緒子 牟田病院 看護部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
8-1	佐藤 亜由美	看護師	富山県	野村病院	慢性期病院における身体拘束最小化チームの一員としての診療看護師の取り組み
8-2	平田 絵美	看護師	福岡県	神代病院	当院における身体拘束最小化に向けた取り組みおよび今後の課題
8-3	梶原 晴佳	看護師	鹿児島県	キラメキテラスヘルスケアホスピタル	身体拘束最小化に対する当院の取り組みと成果
8-4	諫山 和幸	看護師	佐賀県	今村病院	身体拘束評価フローシートを用いた身体拘束最小化への取り組み～転倒・転落リスク評価の標準化を目指して～
8-5	荒牧 花菜	看護師	高知県	朝倉病院・介護医療院 朝倉	A施設における身体拘束廃止の取組に対する職員の意識調査を行って
8-6	古矢 貴宏	看護師	神奈川県	北小田原病院	心理的安全性を軸にした精神科認知症治療病棟の身体拘束削減の取り組み
8-7	平田 夏芽	看護師	愛媛県	松山リハビリテーション病院	身体拘束フローチャートを活用した身体拘束最小化への取り組み

第4会場（福岡国際会議場 3F ロビー）

9 11月19日（木） 13:20～14:40 認知症①

【座 長】長野綾 橋本病院 認知症治療病棟 主任 看護師

【評価者】長瀬正徳 陵北病院 副院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
9-1	金子 亮太	理学療法士	静岡県	新富士病院	高齢患者における認知機能変化と ADL の関連の検討
9-2	森谷 祐介	医師	北海道	愛全病院	認知症患者の精神症状に対し抗精神病薬を使用せず改善が得られた症例の検討
9-3	平田 知寛	看護師	福岡県	有吉病院	在宅介護が困難となった認知症患者に対する かかわり～チェックシートを用いた多職種連携 ケアを振り返る～
9-4	靱井 かなこ	介護福祉士	福岡県	有吉病院	ユマニチュード技法による入所者・職員の 変化と効果
9-5	石森 卓矢	作業療法士	群馬県	美原記念病院	認知症初期集中支援チームが地域に果たす役 割～10 年間の活動実績と事例からの検討～
9-6	中澤 祐介	介護福祉士	山梨県	城東病院	当院での認知症ケアについての取り組み～認 知症まるごとキャッチ研修を実施して～
9-7	土屋 淳	看護師	千葉県	小林病院	重度認知障害患者の大声・不穏に対する先回 りケア～PCC に基づく先制的アプローチ～
9-8	田村 実有	看護師	兵庫県	本山リハビリテーショ ン病院	ユマニチュード普及に向けての取り組みとそ の効果

10 11月19日（木） 14:40～16:00 認知症②

【座 長】小林奈緒子 牟田病院 看護部長 看護師

【評価者】前田夏江 西崎病院 看護部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
10-1	高橋 郁子	看護師	山梨県	恵信リハビリテーション病院	当グループ病院、施設における認知症ケアに対する意識と困難感に関する現状調査
10-2	吉澤 舞	介護福祉士	神奈川県	元気会横浜病院	意思疎通が困難なアルツハイマー型認知症患者へのユマニチュードケア 5つのステップを用いた信頼関係の構築
10-3	山岡 祐樹	作業療法士	香川県	橋本病院	当院認知症治療病棟における各ユニットの作業療法介入と今後の課題
10-4	戸川 達成	看護師	広島県	ナカムラ病院	自分の部屋が分からなくなる患者へのアプローチ
10-5	栗橋 空良	看護師	北海道	花川病院	睡眠日誌の積極的活用による認知症ケアに対する看護師の認識と行動の変容—質的記述的分析を用いて—
10-6	齋藤 寿美子	看護師	千葉県	初富保健病院	介護医療院における認知症ケアチーム活動に対する BPSD+Q 導入効果と認知症看護認定看護師の役割
10-7	大野 まゆみ	作業療法士	埼玉県	埼玉みさと総合リハビリテーション病院	回復期病院における認知症カフェの取り組み～参加者のニーズにあわせて～
10-8	永井 庸介	看護師	大阪府	枚方総合発達医療センター	重症心身障害児施設における認知症看護認定看護師の役割

第5会場（福岡国際会議場 4F 402）

11 11月19日（木） 13:20～14:30 回復期リハ①

【座 長】小川佳代子 富家病院 リハビリテーション室 室長 理学療法士

【評価者】田中譲 みなみ野病院 院長 医師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
11-1	江島 亮	理学療法士	兵庫県	平成病院	回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折術後患者への FLS 導入効果—栄養状態別層別解析—
11-2	高瀬 葉月	作業療法士	東京都	イムス明理会東京町田病院	入棟時認知 FIM17 点以下の運動器・廃用症例における ADL 改善の実態—回復期病棟受け入れ判断の検討—
11-3	木戸 紗希子	作業療法士	北海道	花川病院	回復期リハビリテーション病棟退院後の脳血管・運動器疾患患者における IADL の経時的変化に関する予備的調査
11-4	今田 ななみ	看護師	兵庫県	西宮回生病院	当病棟における離床の認識調査～目的のある離床を目指して～
11-5	小野 瑞菜	理学療法士	群馬県	内田病院	回復期リハビリテーション病棟退院後、介護保険サービス非利用者における在宅生活の実態と課題について
11-6	坂口 俊太郎	理学療法士	山口県	山口平成病院	回復期病棟における入院中転倒患者の入棟時特徴の検討
11-7	橋本 涼加	理学療法士	福岡県	高良台コミュニティホスピタル	回復期リハビリテーション病棟における退院時 ADL 自立度予測に影響する因子～運動器疾患に着目して～

12 11月19日（木） 14:30～15:40 回復期リハ②

【座 長】廣谷和香 千里リハビリテーション病院 セラピー部 コーチ 理学療法士

【評価者】小林達也 島の病院おたに 副院長 医師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
12-1	山田 佳奈	管理栄養士	静岡県	湖山リハビリテーション病院	回復期 A 病棟入院患者における炎症の有無と栄養摂取量及び機能回復の関連
12-2	池田 吉成	事務職	大阪府	千里リハビリテーション病院	脳血管疾患患者における運動 FIM 予測精度と誤差構造—入院時 FIM 階層別・13 項目別分析—
12-3	内田 尚吾	理学療法士	山口県	光風園病院	当院回復期リハビリテーション病棟における心疾患を既往に持つ事の影響とその傾向について
12-4	松本 優貴	作業療法士	東京都	ねりま健育会病院	遷延性意識障害を伴う慢性期重症くも膜下出血患者への包括的支援の一例
12-5	井上 勇弥	理学療法士	群馬県	内田病院	トイレ・移動動作の自立可否を決める入院時体組成データの検討
12-6	三尾谷 礼	理学療法士	千葉県	薬園台リハビリテーション病院	選挙参加や携帯契約等社会交流場面を想定した院外練習を実施し自宅退院を叶えた高次脳機能障害症例
12-7	東條 留奈	作業療法士	香川県	橋本病院	危険予知トレーニングを用いてリスク管理の定着を目指した症例

13 11月19日（木） 15:40～16:40 回復期リハ③

【座 長】石川明美 千里リハビリテーション病院 診療副部長 医師

【評価者】山口知子 札幌西円山病院 在宅ケアセンター 担当課長 管理栄養士

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
13-1	中山 清子	理学療法士	兵庫県	神戸平成病院	当院回復期リハビリテーション病棟における脳血管・運動器疾患患者の FIM 改善と自宅退院の検討
13-2	笹田 朱音	理学療法士	大阪府	淀川平成病院	病棟自主トレーニング提供が総 FIM 利得に与える影響：認知機能調整後の重回帰分析による検証
13-3	廣瀬 颯	理学療法士	徳島県	博愛記念病院	腰部脊柱管狭窄症の術後に脊髄硬膜外動静脈瘻により対麻痺が生じた一症例
13-4	越智 美優	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	若年重度脳卒中患者に対する家族参加型リハビリテーションが歩行能力および ADL に与えた影響
13-5	井川 瑠莉	理学療法士	千葉県	薬園台リハビリテーション病院	体力試験を乗り越えタワーマンション管理人への現職復帰に至った人工股関節全置換術後患者の一例
13-6	内藤 翼	作業療法士	福岡県	高良台コミュニティホスピタル	回復期リハビリテーション病棟から自宅退院した患者における在院日数と FIM 各項目との関連

14 11月19日 (木) 16:40～17:40 回復期リハ④

【座 長】西野鏡雄 千里リハビリテーション病院 医師

【評価者】池田吉成 千里リハビリテーション病院 法人統括本部長 事務職

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
14-1	新開 彩花	看護師	福岡県	高良台コミュニティホ スpital	回復期リハビリテーション病棟における FIT プログラムにおける ADL の改善効果
14-2	井上 博貴	理学療法士	千葉県	薬園台リハビリテー ション病院	末梢神経障害を呈した若年症例に対する、回復 期理学療法士としての段階的な就労移行支援 の経験
14-3	田中 奈々	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーショ ン病院	入院中に覚醒低下しゴール設定に苦慮した一 症例
14-4	永田 遼河	理学療法士	千葉県	薬園台リハビリテー ション病院	重度のパーキンソン患者における長下肢装具 を使った立位、歩行再建について
14-5	小林 永子	作業療法士	兵庫県	東浦平成病院	回復期リハビリテーション病棟における離床 コーディネーターを中心とした離床支援
14-6	平林 克得	理学療法士	大分県	和田病院	多職種協働による退院支援の強化が自宅退院 率および在院日数に及ぼした影響

第6会場 (福岡国際会議場 4F 403)

15 11月19日 (木) 13:20～14:30 回復期リハ⑤

【座 長】村越大輝 富家千葉病院 リハビリテーション室 室長 理学療法士

【評価者】中村智代子 平成扇病院 リハビリテーション部 係長 言語聴覚士

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
15-1	栗田 和明	看護師	茨城県	志村大宮病院	看護師による病棟内自主トレーニングの効果 と有効性の検討
15-2	松田 壮広	作業療法士	岐阜県	愛生病院	「活動の乖離」と退院後転倒との関連性を検討 した一症例
15-3	井上 裕之介	作業療法士	福岡県	高良台コミュニティホ スpital	回復期リハビリテーション病棟における FIT プログラム導入が、実績指数に与える影響
15-4	森 優香	看護師	福岡県	新古賀リハビリテー ション病院みらい	更衣を生活行動へつなげる病棟全体で取り組 んだ更衣訓練の効果
15-5	植田 裕子	理学療法士	大阪府	淀川平成病院	当院回復期リハビリテーション病棟における 自主トレーニング不提供理由の構造：テキス トマイニング分析
15-6	櫻井 志帆	社会福祉士	埼玉県	埼玉みさと総合リハビ リテーション病院	身寄りなし患者の入院受け入れにおける多職 種協働～意思決定支援が行えるチームを目指 して～
15-7	下出 絢菜	作業療法士	東京都	イムス明理会東京町田 病院	両側側頭葉梗塞に伴う情動抑制障害とリハビ リ介入により自宅退院に至った症例

16 11月19日（木） 14:30～15:40 回復期リハ⑥

【座 長】鈴木愛 千里リハビリテーション病院 看護課長 看護師

【評価者】ゴードマンズ由佳理 介護医療院 湖東病院 師長 看護師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
16-1	佐藤 舞彩	理学療法士	宮城県	石巻健育会病院	離床意欲が低下している患者に対し目標やプログラムの可視化チェックリスト導入により活動量が向上するか
16-2	岩佐 拓郎	理学療法士	北海道	愛全病院	回復期リハビリテーション病棟の後期高齢者の予後予測における位相角の有用性
16-3	野本 大智	看護師	東京都	ねりま健育会病院	認知症高齢患者の心因性頻尿に対する多職種介入と攻めのリハビリ看護の有効性
16-4	郡山 一茂	理学療法士	福岡県	福岡輝栄会病院	回復期リハビリテーション病棟におけるボツリヌスカンファレンス導入の取り組み
16-5	林 悠太	言語聴覚士	東京都	イムス明理会東京町田病院	回復期リハ病棟の高齢摂食嚥下障害例における食形態および実用的コミュニケーション機能の変化
16-6	武田 義大	作業療法士	千葉県	富家千葉病院	回復期リハビリテーション病棟におけるトイレ動作の自立度と認知機能の関連
16-7	森 祐也	理学療法士	大阪府	堺平成病院	サルコペニア特化型カンファレンスの導入がリハビリスタッフの意識と行動に与える影響

17 11月19日（木） 15:40～16:40 作業療法①

【座 長】石森卓矢 美原記念病院 リハビリテーション部 副部長 作業療法士

【評価者】河原和美 吉田記念病院 介護医療院 師長 看護師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
17-1	西内 紗也菜	作業療法士	静岡県	介護老人保健施設 三 方原ベテルホーム	意味のある作業を通した役割の再獲得が QOL 向上につながった事例～介護老人保健施設における OT の役割～
17-2	谷川 澄華	作業療法士	大阪府	平成記念病院	回復期病棟における服薬管理自立に関する要因の検討～MMSE 下位項目、作業療法課題の影響に着目して～
17-3	溝下 正展	作業療法士	鹿児島県	出水郡医師会立第二病院	段階的離床と意思表出支援により外出に至り、意欲向上に繋がった一例
17-4	立石 淳一郎	作業療法士	福岡県	上曽根病院	AI 音声会話介入が認知症高齢者に与える影響～入院関連機能低下 (HAD) の予防・改善を目指して～
17-5	梅田 久嗣	作業療法士	宮城県	西仙台病院	慢性疼痛により活動性が低下した症例に対し、行動変容を期待した介入ー疼痛関連認知・情動へのアプローチー
17-6	松田 吏生	作業療法士	東京都	平成扇病院	COVID-19 感染後の廃用症候群により ADL 全介助となった認知症高齢者に対する作業療法介入

18 11月19日 (木) 16:40～17:40 作業療法②

【座 長】吉田良子 新栄会病院 リハビリテーション課 リーダー 作業療法士

【評価者】藤田徹 札幌西円山病院 経営管理部 課長 事務職

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
18-1	内藤 晴香	作業療法士	神奈川県	鶴巻温泉病院	重度運動麻痺を呈する回復遅延型ギラン・バレー症候群一症例の食事動作再獲得を目指した長期的作業療法実践
18-2	辻 裕成	作業療法士	香川県	橋本病院	全失語を呈した脳卒中患者に対して色彩変化による環境調整が ADL 向上に繋がった一例
18-3	山本 望丘	作業療法士	島根県	安来第一病院	施設入所待機で長期入院となる、認知機能低下、抑うつ状態が予測される患者の QOL 変化
18-4	北嶋 有紗	作業療法士	山口県	光風園病院	COPM の活用により麻痺側上肢を使用した活動が実現した一例—価値観に基づく目標設定が生活場面に与えた変化—
18-5	西山 可那	作業療法士	岡山県	済生会吉備病院	重度上肢麻痺症例に対し早期の予後予測と実車評価により改造車受容に至った自動車運転支援の一事例
18-6	椎原 大稀	作業療法士	奈良県	奈良東病院	疼痛関連評価の改善を認めず ADL が改善した大腿骨頸部骨折術後症例

第7会場 (福岡国際会議場 4F 404)

19 11月19日 (木) 13:20～14:20 作業療法③

【座 長】南部浩志 定山溪病院 リハビリテーション部 部長代理 作業療法士

【評価者】北岡円 美原記念病院 事務部長 事務職

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
19-1	太田 愛乃	作業療法士	岡山県	済生会吉備病院	重度左被殻出血による低覚醒・全介助状態からトイレ動作軽介助へと改善を認めた段階的作業療法
19-2	木村 早希	作業療法士	埼玉県	埼玉みさと総合リハビリテーション病院	自己への気付きを促す関わりが麻痺側上肢使用拡大に繋がった一例
19-3	磯村 翔大	作業療法士	岐阜県	愛生病院	悲観的な発言を認めた症例に対する運動療法により身体機能の変化に伴う心理的变化
19-4	石田 柊花	作業療法士	兵庫県	西宮回生病院	長期経過パーキンソン病患者の小字症状に対し認識に焦点を当てた介入—作業遂行 6 因子分析ツールを用いて—
19-5	石塚 和佳奈	作業療法士	香川県	橋本病院	テニス競技への復帰を目指す頸髄損傷患者に対する課題指向型アプローチの実践
19-6	五味 友莉香	作業療法士	東京都	南多摩病院	パニック症の既往がある重症心不全患者に ADL 改善のため支持的精神療法を用いた一例

20 11月19日（木） 14:20～15:20 作業療法④

【座 長】沼田一成 奈良東病院 リハビリテーション科 統括科長 作業療法士

【評価者】中村由紀江 有吉病院 看護師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
20-1	藤原 寧々	作業療法士	香川県	橋本病院	調理を通して意欲の向上が認められた皮質盲患者の治療経験
20-2	石関 千乃	作業療法士	埼玉県	埼玉セントラル病院	作業を通して、他者との関わりという価値を再獲得した事例について
20-3	大塚 由菜	作業療法士	埼玉県	埼玉セントラル病院	趣味活動が重度認知症患者の精神的安定とBPSD改善を認めた一例
20-4	大坪 美紗都	作業療法士	福岡県	高良台コミュニティホスピタル	回復期脳卒中片麻痺患者へのBMI訓練が上肢機能と運動イメージに及ぼす影響
20-5	内原 成美	作業療法士	埼玉県	埼玉セントラル病院	「がんばらなんね」～認知症患者に対し方言と家族参加型介入により活動性向上が認められた症例～
20-6	池之谷 真結香	作業療法士	石川県	千木病院	認知行動療法により訓練参加意欲の向上を認めた抑うつ患者の一例

21 11月19日（木） 15:20～16:20 作業療法⑤

【座 長】森祥子 豊中平成病院 リハビリテーション部 部長 作業療法士

【評価者】南部浩志 定山溪病院 リハビリテーション部 部長代理 作業療法士

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
21-1	浅井 麗	作業療法士	東京都	みなみ野病院	原因不明単麻痺を呈した重度パーキンソン病患者の医療療養病棟における作業療法—左上肢再使用と活動参加—
21-2	内山 利英	作業療法士	東京都	大内病院	実践報告 精神科デイケアにおける若年層が取り組みやすい未実施の創作活動の導入～レジンをやってよかった～
21-3	土井 彩加	作業療法士	広島県	井野口病院	ストーマを造設したがん患者に対しQOL評価を用いて介入し、病前の役割や趣味・交流を再獲得した事例
21-4	土橋 一希	作業療法士	東京都	みなみ野病院	医療療養病棟において生活歴に基づく作業活動が主体的行動と生活行為の拡大に繋がった一例
21-5	管 和真	作業療法士	東京都	平成扇病院	治療目標の設定に難渋した対象者に対しCOPMを用いて合意目標に至った症例
21-6	藤田 絢女	作業療法士	東京都	明理会東京大和病院	本人の意思決定を起点とした退院支援

22 11月19日(木) 16:20～17:20 言語聴覚療法

【座 長】中村智代子 平成扇病院 リハビリテーション部 係長 言語聴覚士

【評価者】石橋尚基 新八千代病院 リハビリテーション科 科長 言語聴覚士

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
22-1	坂本 英世	言語聴覚士	東京都	まちだ丘の上病院	脳卒中発症4年後からの介入で改善が認められた90代失語症例—慢性期超高齢者の改善要因に関する一考察—
22-2	中野 有里恵	言語聴覚士	兵庫県	協立記念病院	発声制限下の四肢麻痺患者に対する意思伝達支援としてのiPadの活用—リハビリ意欲向上に着目して—
22-3	菅 涼	言語聴覚士	東京都	緑成会整育園	口腔ケア時に拒否反応を呈した視覚障害を伴う重症心身障害者へのコミュニケーション的介入
22-4	岩尾 尚美	言語聴覚士	兵庫県	協立記念病院	脳幹出血により重度嚥下障害、コミュニケーション障害を呈した一例～20年にわたる長期的な関わり～
22-5	橘 彩乃	言語聴覚士	大阪府	千里リハビリテーション病院	原職復帰を希望した若年失語症の一症例に対する回復期リハ病院でのSTの取り組みと課題について
22-6	小田 彩	言語聴覚士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	病態変化に応じたコミュニケーション支援を行った回復遅延型重症ギラン・バレー症候群患者の1例

第8会場（福岡国際会議場 4F 405）

23 11月19日（木） 13:20～14:30 理学療法①

【座 長】長谷川奨斗 世田谷記念病院 リハビリテーション部 エリア部長 理学療法士

【評価者】北野登美子 高良台コミュニティホスピタル 看護部長 看護師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
23-1	渡邊 有耶	理学療法士	神奈川県	平成横浜病院	緩和ケア患者に対し、家族を含めた地域包括医療病棟での理学療法士の役割
23-2	渡部 佑実	理学療法士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合 リハビリテーション病 院	筋緊張の改善により車椅子離床の再獲得に繋がった症例ーポジショニングを用いた持続的伸張による改善ー
23-3	小松崎 朱里	理学療法士	神奈川県	平成横浜病院	地域包括医療病棟における経口摂取困難な低栄養患者に対する運動負荷量設定：症例検討
23-4	杉浦 涼葉	理学療法士	神奈川県	平成横浜病院	認知行動療法により恐怖心を伴うバランス低下の改善が示唆された一症例
23-5	山崎 博喜	理学療法士	福岡県	原病院	地域在住高齢者に対する踏みトレが下肢荷重能力と歩行・立ち上がり能力に及ぼす影響
23-6	親泊 康隆	理学療法士	沖縄県	牧港中央病院	人工呼吸器患者に対してのリハビリテーション～他職種と連携し ADL 向上した症例～
23-7	井岸 烈	理学療法士	東京都	多摩川病院	HAL と BWST を併用した歩行訓練により歩行能力が改善した脳卒中片麻痺患者の一症例

24 11月19日 (木) 14:30～15:40 理学療法②

【座 長】清宮大翔 平成扇病院 リハビリテーション部 部長代理 理学療法士

【評価者】板垣昌史 定山溪病院 理学療法科 副主任 理学療法士

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
24-1	黒岩 敬之	理学療法士	佐賀県	順天堂病院	脊柱変形のあるパーキンソン病患者に対し LSVT を実施し腰痛増悪をきたした症例
24-2	富野 靖人	理学療法士	京都府	介護老人保健施設深草京しみず	認知症を有する利用者に対し入所・通所間で同一理学療法士が継続介入した一症例
24-3	長田 泰馬	理学療法士	山梨県	城東病院	食べる力推進室における理学療法士の役割～「食べる力」を引き出すための本質とは～
24-4	篠原 良介	理学療法士	千葉県	総泉病院	慢性期患者の痙縮に対するボツリヌス療法と経皮的電気刺激の併用効果～慢性期頭部外傷患者の一症例～
24-5	金澤 昇汰	理学療法士	茨城県	志村大宮病院	移乗動作に重度介助を要す右脳梗塞症例に対し、立位から着座までを能動的に引き出す理学療法
24-6	吉川 樹	理学療法士	徳島県	徳島平成病院	非認知症患者と軽度認知症または MCI 患者に対する Pysibo Gait の即時効果の比較医
24-7	辻 あかり	理学療法士	大阪府	泉佐野優人会病院	脳卒中関連サルコペニアを呈した症例に対し、歩行手段を調整することで歩行動作獲得に至った一症例

25 11月19日（木） 15:40～16:50 理学療法③

【座 長】石井翔悟 平成扇病院 リハビリテーション部 主任 理学療法士

【評価者】中島由美 橋本病院 リハビリテーション部 部長 理学療法士

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
25-1	坂本 美羽	理学療法士	東京都	緑成会整育園	呼吸機能へのアプローチにより声量向上を認めた脳性麻痺長期入所者の一症例
25-2	森元 香帆	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	歩行への自己効力感低下に対してトークン・エコノミー法が有効であった脳卒中後片麻痺患者の一例
25-3	鹿志村 和央	理学療法士	東京都	緑成会病院	体重免荷装置を用いた反動的姿勢制御訓練によりバランス機能改善を認めた脊髄小脳変性症の一症例
25-4	南澤 拓美	理学療法士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	短縮版歩行自立評価表 Independent Ambulation Scale-Short (IAS-S) の職種間信頼性の検討
25-5	内藤 正喜	理学療法士	神奈川県	鶴巻温泉病院	進行期 ALS・SMA 患者への LIC TRAINER 介入による呼吸機能の即時変化と病院介入の意義
25-6	糸賀 秀基	理学療法士	山口県	光風園病院	右放線冠梗塞と左小脳出血併発例の歩行再建～訓練内容、反復回数、進行過程に着目して～
25-7	橋本 夏実	理学療法士	熊本県	西日本病院	パーキンソン病患者における感覚フィードバックトレッドミルによる聴覚・視覚刺激の歩行関連機能改善変化量

26 11月19日（木） 16:50～18:00 理学療法④

【座 長】後藤浩水 新古賀リハビリテーション病院みらい 介護医療院 主任 理学療法士

【評価者】梅原靖孝 定山溪病院 リハビリテーション部 科長代理 理学療法士

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
26-1	横山 潮苑	理学療法士	千葉県	葉園台リハビリテーション病院	延髄内側症候群における教師あり学習を基盤とした理学療法の検討
26-2	大馬 夏海	理学療法士	神奈川県	鶴巻温泉病院	慢性期外傷性くも膜下出血後の意識障害患者における立位練習後の意識状態の変化—CRS-Rによる経時的評価—
26-3	清水 皓貴	理学療法士	愛媛県	松山リハビリテーション病院	歩行動画を用いた歩行観察教育が理学療法士の歩行観察能力に与える影響
26-4	浅間 優月	理学療法士	大阪府	泉佐野優人会病院	COVID-19 後の廃用症候群を呈した慢性期脳卒中後患者に対する歩行獲得を目指した段階的難易度設定の介入経過
26-5	竇川 和樹	理学療法士	兵庫県	東浦平成病院	心不全治療後の後期高齢者に対する運動習慣への介入事例～主観的な疲労感と vital signs の乖離に着目して～
26-6	近下 翔馬	理学療法士	香川県	橋本病院	遊脚期の足部クリアランス改善と立脚終期の推進力改善に着目し、歩行能力改善を認めた脳梗塞症例
26-7	栗原 沙季	理学療法士	東京都	世田谷記念病院	連鎖的内部疾患による長期臥床後、姿勢定位の改善により基本動作の介助量軽減を図った脳梗塞の一症例

第9会場（福岡国際会議場 4F 406）

27 11月19日（木） 13:20～14:30 理学療法⑤

【座 長】池村健 博愛記念病院 リハビリテーション部 統括部長 理学療法士

【評価者】岡弘江 高良台コミュニティホスピタル 地域支援部 部長 看護師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
27-1	藤原 鈴香	理学療法士	埼玉県	埼玉セントラル病院	発症から 25 年経過した多系統萎縮症患者の病棟生活を含めた介入によって移乗動作の介助量軽減を認めた症例
27-2	佐野 友希恵	理学療法士	東京都	青梅三慶病院	長期臥床患者に対するシャボンラッピングの有用性～足部からの快刺激が全身の筋緊張緩和をもたらした一例～
27-3	坂下 一輝	理学療法士	福岡県	高良台コミュニティホスピタル	ウェルウォークを用いた歩行練習と歩行自立度が在宅復帰に及ぼす影響
27-4	松下 慧祐	理学療法士	鳥取県	養和病院介護医療院	右坐骨結節痛により離床が制限された脳梗塞後左片麻痺利用者に対するシーティング介入の一症例
27-5	川西 章文	理学療法士	東京都	世田谷記念病院	歩行の踵接地時に生じる右膝蓋骨内側部痛に対して股関節の影響を検討した一例
27-6	中川 慎也	理学療法士	千葉県	新八千代病院	慢性期脳卒中患者の下肢痙縮に対するボツリヌス療法後の包括的リハビリテーション医療の有効性—症例報告—
27-7	榊原 郁人	理学療法士	千葉県	印西総合病院	医療療養病棟で重度脊髄損傷患者の希望に寄り添い、疼痛軽減やセルフケアの獲得を目指した症例：症例報告

28 11月19日 (木) 14:30～15:40 理学療法⑥

【座 長】尾山直樹 橋本病院 回復期リハビリテーション病棟 主任 理学療法士

【評価者】宮薗頌太朗 芳珠記念病院 リハビリテーション室 副主任 理学療法士

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
28-1	伊藤 颯希	理学療法士	東京都	多摩川病院	外傷性くも膜下出血後の予測的姿勢制御障害に対する介入により歩行・上肢運動が改善した一症例
28-2	演題取り下げ				
28-3	小林 佑奈	理学療法士	埼玉県	富家病院	肺炎患者の体位の違いが Biphase Cuirass Ventilation の排痰および換気パラメータに与える影響について
28-4	岩井 友理佳	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	視神経脊髄炎に伴う有痛性強直性痙攣を有する症例への理学療法戦略
28-5	石塚 春友	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	パーキンソン病を有する大腿骨転子部骨折症例に対する理学療法介入の一例
28-6	三谷 達也	理学療法士	大阪府	豊中平成病院	医療療養病棟におけるギラン・バレー症候群に対する長期的リハビリテーションの一例：症例報告
28-7	古川 絵里	臨床工学技士	静岡県	東名裾野病院	慢性期医療における透析療法 I-HDF を導入して

29 11月19日 (木) 15:40～16:40 代替療法①

【座 長】百戸直子 大久野病院 看護部長 看護師

【評価者】名古将太郎 千里リハビリテーション病院 セラピー部 コーチ 言語聴覚士

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
29-1	北田 知也	看護師	大阪府	優人会病院	回復期リハビリテーション病棟看護師の患者の余暇活動に対する認識調査
29-2	那須 貴之	公認心理師、音楽療法士	大阪府	坂本病院	療養病棟入院患者における VR (仮想現実) 技術を用いた動画視聴が QOL および気分状態に及ぼす影響
29-3	吉田 文裕	理学療法士	東京都	介護老人福祉施設ケアホーム板橋	猫との触れ合いが特別養護老人ホーム利用者の抑うつ傾向に影響を与えた症例
29-4	西岡 風子	看護師	三重県	長島中央病院	南北病棟合唱部『きらり』始動～輝く笑顔のために～
29-5	水谷 浩二	理学療法士	愛知県	鵜飼病院	療養病棟における集団を活用したリハビリテーション—参加機会の再獲得に対する取り組み—
29-6	藤本 弘毅	理学療法士	和歌山県	宇都宮病院	入院患者の ADL 及び QOL 向上に向けた取り組み—集団リハビリテーションの実践—

30 11月19日（木） 16:40～17:50 代替療法②

【座 長】菅原さとみ 吉田記念病院 看護部長 看護師

【評価者】柚田真知子 新栄会病院 リハビリテーション課 課長 理学療法士

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
30-1	小林 彩夏	管理栄養士	兵庫県	介護老人保健施設ウエルハウス西宮	通所リハビリテーションにおける料理レクリエーションの取り組み
30-2	中安 優奈	作業療法士	兵庫県	協和マリナホスピタル	地域包括ケア・障害者病棟における QOL 改善に向けた取り組み
30-3	初村 和彦	介護職	福岡県	高良台シニアマンション	サービス付き高齢者向け住宅における「貯筋運動」導入の検証
30-4	萩原 隆一	事務職	埼玉県	メディカルホーム苗間	Chief Recreation Officer として取り組んだナラティブの実践～人生の思い出づくりと居場所づくりを目指して～
30-5	杉山 潤一	理学療法士	静岡県	ライフケアガーデン熱川	ご当地メニューを味わうこと～ささやかな夢を実現すること～幸せ気分を実現する 2 つの試み
30-6	大滝 亮輔	介護福祉士	静岡県	介護老人保健施設 もくれん	レクリエーション計画書の標準化～情報共有の手段として～
30-7	神山 拓哉	健康運動指導士	北海道	札幌西円山病院	介護予防への『入り口』を広げる一音楽療法と運動療法の共同支援による参加意欲の喚起一

第10会場（福岡国際会議場 4F 407）

31 11月19日（木） 13:20～14:30 外来・通所リハ①

【座 長】増田知子 千里リハビリテーション病院 セラピー部 部長 理学療法士

【評価者】石川明美 千里リハビリテーション病院 診療副部長 医師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
31-1	武藤 風夏	言語聴覚士	広島県	井野口病院	Attention process training に基づく注意機能訓練により、病前活動再開に至った一例
31-2	赤堀 文洋	理学療法士	山梨県	恵信甲府ケアセンター	通所リハビリテーションにおける利用者には選ばれる施設づくりの検討
31-3	西山 佳介	理学療法士	福岡県	高良台コミュニティホスピタル	通所リハビリテーションの介護度別に見た最適利用回数の検討
31-4	宮地 拓馬	理学療法士	広島県	小島病院	リズム刺激併用下でのリカンベント・ステップ運動がパーキンソン病症状を呈する高齢者の歩行に及ぼす影響
31-5	山根 咲季	理学療法士	島根県	安来第一病院	独居の高齢心不全患者の再入院予防における外来心臓リハビリテーションと多職種連携の有用性
31-6	濱 雄祐	言語聴覚士	北海道	聖ヶ丘病院	地域高齢者および通所リハビリテーション利用者における食思不振とオーラルフレイルの関係性
31-7	鈴木 智子	言語聴覚士	千葉県	新八千代病院	進行性失語症一症例の変容するコミュニケーションに対する外来リハビリの役割

32 11月19日（木） 14:30～15:40 外来・通所リハ②

【座 長】貴志千秋 桜ヶ丘病院 リハビリテーション科 科長 理学療法士

【評価者】嶋崎真治 永生病院 リハビリテーション科 科長 理学療法士

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
32-1	中島 龍司	作業療法士	福岡県	介護老人保健施設 高良台	もう一度もう一度野菜を作りたい！～作業活動を通して～
32-2	天野 颯太	理学療法士	広島県	島の病院おおたに	評価は誰のためのものか～TUG フィードバックシートを用いた利用者への評価還元の試み～
32-3	鈴木 梨紗	作業療法士	千葉県	小林病院	通所リハビリテーション利用者における認知機能の経年変化
32-4	碓本 亘	理学療法士	東京都	城西病院リハビリテーション科	高稼働化デイサービスにおける利用者ニーズの質的変容と理学療法士の役割
32-5	下園 力登	理学療法士	鹿児島県	湯田内科病院	リハビリ拒否が強く廃用性のADL低下を呈した症例に対する意欲向上へのアプローチ
32-6	須藤 裕子	作業療法士	東京都	介護サービススマイル 永生	通所リハビリテーションにおける園芸活動の取り組み―役割形成と社会参加支援―
32-7	山本 雄資	理学療法士	和歌山県	名手病院	高齢者主体のデイケアにおける若年性脳卒中患者への就労支援～評価に基づく徹底した機能訓練と家族指導～

33 11月19日（木） 15:40～16:50 外来・通所リハ③&排泄リハ

【座 長】草野謙二 原病院 リハビリテーション部 係長 理学療法士

【評価者】原口友子 加治木温泉病院 総合リハビリテーションセンター 技士長 言語聴覚士

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
33-1	村松 道也	理学療法士	静岡県	西山ナーシング通所リハビリテーション	「一人で歩きたい」を支えた共有意思決定—職員の葛藤可視化と4者合意形成の実践—
33-2	藤木 孝昭	理学療法士	大阪府	堺平成病院	通所リハビリテーションにおける5分間運動の取り組み～介護士と協力したセルフマネジメント支援のために～
33-3	堀越 歩	臨床心理士	宮城県	西仙台病院	通所リハビリテーション利用者の認知機能と抑うつとの関係
33-4	細川 雄平	作業療法士	兵庫県	平成リハビリテーション専門学校	平成医療福祉グループにおける排泄リハビリテーションチームの活動と臨床的有用性について
33-5	津江 尚幸	理学療法士	山口県	山口平成病院	排泄自立の鍵となる因子の探索：入院時おむつ使用者に着目した分析
33-6	沼間 知佳	理学療法士	兵庫県	尼崎医療生協病院	トイレ排便回数は在宅復帰に関連する生活指標となり得るか—排泄を起点とした在宅復帰支援の構想—
33-7	西田 龍一	作業療法士	兵庫県	西宮回生病院	CBA 重症群を呈した高齢者への排泄アプローチ—残存機能に合わせた環境設定と多職種連携の関わり—

第11会場（福岡国際会議場 4F 409）

34 11月19日（木） 13:20～14:40 地域連携①

【座 長】大谷祐之 富家病院 地域総合診療 専門研修指導医 医師

【評価者】山本史子 芳珠記念病院 歯科口腔外科 医長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
34-1	小野 瑞葵	社会福祉士	鹿児島県	加治木温泉病院	在宅療養支援に資するレスパイト入院の検討
34-2	佐藤 芳彦	理学療法士	千葉県	初富保健病院	認知症予防教室での EQ5D の有効性について
34-3	青山 善一	介護支援専門員	島根県	鹿島病院	居宅介護支援事業所における個別避難計画の実効性検証
34-4	富樫 映史子	看護師	滋賀県	淡海ふれあい病院	「困っていない」と語る認知機能低下を有する 独居高齢透析患者への意思決定—多職種連携 の一例—
34-5	木戸田 晶子	社会福祉士	茨城県	みんなの内科外科クリニック	顔の見える関係から地域を支える多職種チーム の構築へ—当院における 1 年間の医療介護 連携活動の成果報告
34-6	吉川 貴士	高専・教授	愛媛県	新居浜工業高等専門学校	工業高専と在宅支援チームが連携した在宅四肢 障がい児の入浴支援機器開発事例
34-7	山下 祥太	理学療法士	兵庫県	ケアホーム南淡路	電動アシスト自転車の定着困難事例に対する 地域参加支援～通所リハによるいきいき百歳 体操への橋渡し～
34-8	横田 俊輔	理学療法士	北海道	聖ヶ丘病院	地域連携によるノーリフティング普及と常設 展示の試み

35 11月19日（木） 14:40～15:50 地域連携②

【座 長】堀野純子 大久野病院 看護部 科長 看護師

【評価者】加藤奈津 介護医療院 湖東病院 訪問看護ステーション 所長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
35-1	伊草 亮輔	事務職	東京都	安田病院	病・病連携の取り組みにチャレンジ！～2025年問題・B3 シナリオを見据えて～
35-2	野川 佳乃	社会福祉士	富山県	いま泉病院	病床利用率向上に向けた地域連携室の取り組み
35-3	井出 大	理学療法士	東京都	医療法人社団永生会	東京都南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支援センターの令和7年度研修事業に関する活動報告
35-4	大森 しほる	社会福祉士	福岡県	新古賀リハビリテーション病院みらい	バイオ・サイコ・ソーシャルモデルに基づく就労世代脳梗塞患者へのMSW支援
35-5	梅原 靖孝	理学療法士	北海道	定山溪病院	効果的な渉外活動の分析と今後の展望～渉外活動のあり方を考える～
35-6	菊池 和友	社会福祉士	岩手県	南昌病院	社会福祉士による法人町民公開講座の取り組みと地域住民への健康教育・法人認知度向上の効果
35-7	中西 笑子	介護支援専門員	北海道	札幌西円山病院	介護予防支援事業所指定に至る体制構築の実践―予防専従ケアマネ配置と段階的組織変革―

36 11月19日（木） 15:50～17:00 地域連携③

【座 長】岡弘江 高良台コミュニティホスピタル 地域支援部 部長 看護師

【評価者】田島紘己 キラメキテラスヘルスケアホスピタル 副理事長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
36-1	井手 歩美	理学療法士	神奈川県	鶴巻温泉病院	レスパイト入院を利用するパーキンソン病患者介護者における介護負担感の関連要因の検討
36-2	吉田 知世	社会福祉士	大分県	和田病院	家族の協力が得られない患者様に対する退院支援上の課題～病院内外でできること、できないこと～
36-3	渡辺 ひなの	社会福祉士	大分県	和田病院	高齢夫婦世帯における急変時の独居リスクと退院支援の取り組み～自己管理能力不十分な妻への支援を通して～
36-4	浅野 一信	管理栄養士	岐阜県	近石病院	嚥下食って何？嚥下食実食体験会を実施して～嚥下食が果たす社会課題解決のための取り組み～
36-5	守澤 留美	看護師	山梨県	城東病院	生活の場である施設だからこそ求められる看護の判断～外来看護師の同行訪問を通じた施設看護師との協働～
36-6	原 和行	社会福祉士	佐賀県	祐愛会高島病院	多職種協働による病床マネジメント強化が病床稼働率向上につながった取り組み
36-7	湯浅 直樹	事務職	東京都	永生病院	地域課題共有型研究会へ発展した多職種連携の実践

第12会場（福岡国際会議場 4F 410）

37 11月19日（木） 13:20～14:20 慢性期医療①

【座 長】中村大輔 まちだ丘の上病院 院長 医師

【評価者】樋沢まみ 永生病院 師長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
37-1	長南 雅志	医師	宮城県	西仙台病院	慢性期患者における栄養管理方法と予後の関連—生存解析および多変量解析による検討—
37-2	寺島 正晃	作業療法士	大阪府	坂本病院	医療療養型病棟におけるコミュニケーション支援の取り組みと QOL 維持に関連した一考察
37-3	丹野 尚	医師	宮城県	松島病院	自己注射困難な高齢 2 型糖尿病に対するインスリンイコデクの効果
37-4	荒尾 雅文	理学療法士	東京都	みなみ野病院	入院時 FIM からみた医療療養病棟患者の在院死亡リスク—高リスク患者の臨床的特徴—
37-5	富村 有貴	臨床工学技士	佐賀県	順天堂病院	長期人工呼吸器使用患者のカフ圧と胸部 X 線での気管拡張の現状
37-6	松本 美穂	臨床工学技士	埼玉県	富家病院	高齢透析導入患者の生命予後向上を目指して～個別因子に着目して～

38 11月19日（木） 14:20～15:20 慢性期医療②

【座 長】大戸将司 大寿会病院 理事長 医師

【評価者】西野鏡雄 千里リハビリテーション病院 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
38-1	佐伯 拓磨	理学療法士	北海道	洞爺温泉病院	慢性期脳卒中患者に対するボツリヌス療法が介護負担に与える影響
38-2	佐藤 一也	医師	福岡県	久英会クリニック	「施設特化型診療所」における高齢者施設医療の現状と役割～施設に特化した診療所の 15 年の歩み～
38-3	阿部 祐也	臨床心理士	宮城県	西仙台病院	慢性期入院患者への新しい認知機能評価バッテリーの提案 2—精神疾患・神経難病の患者を対象とした検討—
38-4	大森 快	理学療法士	千葉県	富家千葉病院	脊髄損傷患者に対する体外式人工呼吸器の使用経験～呼吸機能向上に関するケースシリーズ研究～
38-5	河本 勝之	医師	滋賀県	淡海ふれあい病院	慢性期医療における高齢者摂食嚥下障害の可視化を目指した新規摂食嚥下機能スコアの検討
38-6	立川 毅	看護師	東京都	永生病院	ケアミックス病院における一次救急の受け入れ体制構築と現状から見た今後の課題

39 11月19日 (木) 15:20～16:30 栄養管理①

【座 長】國見友恵 鶴巻温泉病院 診療技術部 栄養科 科長 管理栄養士

【評価者】高階遥香 有吉病院 管理栄養士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
39-1	岡本 紀美	管理栄養士	高知県	高知城東病院	多職種連携による患者の嗜好や食環境に配慮した取り組み
39-2	徳嵩 美祐	管理栄養士	長野県	轟病院	アルギニン・コラーゲンペプチド・亜鉛配合栄養補助食品による褥瘡改善効果の検討
39-3	木村 康子	管理栄養士	福岡県	有吉病院	最後の一口まで自分らしく生きるために～当院での嚥下調整食の取り組み～
39-4	新木 理恵	管理栄養士	東京都	平成扇病院	食事形態の変化と食事摂取率の関係一回復期リハビリテーション病棟における検討ー
39-5	村田 汐梨	栄養士	広島県	ナカムラ病院	ひとりひとりに寄り添った栄養管理を目指して～経口摂取に取り組んだ1例～
39-6	宮川 日夏子	管理栄養士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	摂食障害がある患者への栄養アプローチ～一人ひとりに合わせた栄養教育と栄養管理の重要性～
39-7	神谷 龍一	管理栄養士	大阪府	泉佐野優人会病院	療養病棟における GLIM 基準を用いた栄養評価と栄養補給経路との関連

40 11月19日 (木) 16:30～17:40 栄養管理②

【座 長】堤亮介 平成横浜病院 栄養部 本部長 管理栄養士

【評価者】中村吉孝 福岡輝栄会病院 理事長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
40-1	能條 優花	管理栄養士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	経腸栄養移行の試みと課題
40-2	永田 裕子	看護師	長崎県	道ノ尾病院	経管栄養患者における粘度可変型流動食の使用による臨床症状と栄養状態への影響
40-3	萩 晃帆	管理栄養士	兵庫県	平成病院	嚥下食(ハーフ食)における磁器製小型食器導入の実践報告: 器の工夫が摂取量および患者主観評価に与える影響
40-4	田中 月都	管理栄養士	福岡県	新古賀リハビリテーション病院みらい	退院後訪問栄養食事指導料導入に向けた体制構築と実践ー透析通院患者1症例を経験してー
40-5	猪股 祐香	管理栄養士	北海道	札幌西円山病院 介護医療院	介護医療院における経管栄養2回投与法導入の実践ー業務効率および安全性の検討ー
40-6	渡邊 允耶	管理栄養士	山口県	山口平成病院	経管栄養患者における体重維持に必要な活動係数の検討
40-7	大嶋 晶子	管理栄養士	千葉県	新八千代病院	加水ゼロ式調理法を活用したコード2-2の食事改善への取り組み

41 11月19日（木） 17:40～18:40 栄養管理③

【座 長】木村康子 有吉病院 栄養科 主任 管理栄養士

【評価者】大塚隆大 介護老人保健施設高良台 看介部 部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
41-1	中山 宏美	管理栄養士	福岡県	高良台コミュニティホスピタル	地域包括ケア病棟における病院食満足度と入院時の指標変化との関連性について
41-2	木戸口 祥大	理学療法士	徳島県	中洲八木病院	摂食チーム会議を行い肺炎後に食事摂取量が改善し退院となった一症例
41-3	高橋 加奈	看護師	神奈川県	AOI 国際病院	当院における経腸栄養 2 回投与法導入の背景と実践プロセス
41-4	松瀬 花佳	管理栄養士	福岡県	福岡輝栄会病院	経管栄養に伴う難治性下痢へのペクチン含有粘度可変型消化態流動食の有用性—排便とケア環境改善の 2 症例—
41-5	黒崎 禎巳	管理栄養士	山梨県	城東病院	食べる力推進室を立ち上げて—生活を起点とした包括的栄養改善を目指す—
41-6	新城 翔子	管理栄養士	沖縄県	牧港中央病院	当院の肥満症例に対する薬物療法の導入状況と栄養介入について

第13会場（福岡国際会議場 4F 411）

42 11月19日（木） 13:20～14:20 栄養管理④

【座 長】山口知子 札幌西円山病院 在宅ケアセンター 担当課長 管理栄養士

【評価者】山崎郁子 南昌病院 総看護師長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
42-1	梅野 桐子	看護師	福岡県	メディカルケア南ヶ丘	安診ネットを活用した低栄養予防への取り組み
42-2	稲毛 藍	管理栄養士	埼玉県	富家病院	入院中の透析患者に対する GLIM 基準による栄養評価と予後との関連
42-3	三谷 侑奈	管理栄養士	奈良県	秋津鴻池病院	回復期リハ病棟における栄養状態と ADL の関連—GLIM 基準を用いた検討—
42-4	佐藤 直也	看護師	神奈川県	AOI 国際病院	慢性期病棟における経腸栄養 2 回投与導入の効果—看護要員の業務負担と看護ケアへの影響—
42-5	古賀 標志	管理栄養士	熊本県	介護医療院ゆうきの里	栄養マネジメント強化加算導入後の栄養状態の変化
42-6	松原 美鈴	看護師	兵庫県	西宮回生病院	回復期リハビリテーション病棟における椎体骨折患者の栄養状態が身体機能および ADL に及ぼす影響

43 11月19日（木） 14:20～15:30 栄養管理⑤

【座 長】大嶋晶子 新八千代病院 栄養管理科 科長 管理栄養士

【評価者】松原直矢 島の病院おたに 総合診療科 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
43-1	黒松 利恵	管理栄養士	福岡県	シーサイド病院	最期まで口から食べるための多職種ミールラウンドの取り組み
43-2	中丸 真理	管理栄養士	東京都	イムス明理会東京町田病院	将来性のある病院給食体制への転向
43-3	浅野 珠美	管理栄養士	岐阜県	愛生病院	住宅型有料老人ホームにおける病院給食配送体制構築の取り組みとその評価
43-4	金山 紫乃	管理栄養士	福岡県	若久サテライトビレッジ	介護施設における完調品活用下での栄養強化の取り組み—食事形態別にみた体重変化と低栄養のリスク検討—
43-5	高橋 愛子	管理栄養士	福岡県	水戸病院	地域包括ケア病棟の管理栄養士の病棟配置が多職種連携と栄養管理に与える影響
43-6	柴 晃洋	管理栄養士	神奈川県	鶴巻温泉病院	慢性期多機能型病院における栄養補助食品の使用状況と残食の実態調査
43-7	埴田 悠羽	理学療法士	東京都	緑成会病院	慢性的な低栄養と人工股関節置換術後に歩行能力低下を呈した高齢女性に対するリハ栄養介入の一症例

44 11月19日（木） 15:30～16:40 業務改善①

【座 長】須藤夏樹 内田病院 統括事務部長 事務職

【評価者】田中修 加藤病院 法人本部 専務理事 事務職

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
44-1	穂坂 邦大	医師	埼玉県	川越リハビリテーション病院	紙による業務の削減を目指して 回復期病院におけるノーコードアプリの導入
44-2	星 昌美	看護師	北海道	聖ヶ丘病院	安全で働きやすい職場づくりを目指して モデル事業参加によるノーリフティングの取り組み
44-3	佐藤 仁美	看護師	北海道	聖ヶ丘病院	「持ち上げない」から「支えあう」ケアヘスライディングシートを活用したノーリフティングの推進—
44-4	渋谷 充	放射線技師	福岡県	高良台コミュニティホスピタル	薬剤処方確認工程の DX 化による業務負担軽減と医療安全向上
44-5	桑田 昌実	看護師	兵庫県	西宮回生病院	A 病院外来の 5S 活動に対するスタッフの認識調査
44-6	森川 敬介	作業療法士	広島県	メリィ訪問看護ステーション 八千代	訪問看護におけるリハビリ指示管理の標準化と効率化—業務プロセス再構築の試み—
44-7	町田 裕美	看護師	東京都	城西病院	ルーチン化した Ba フラッシュを見直したことによる成果

45 11月19日（木） 16:40～17:40 業務改善②

【座 長】北岡 円 美原記念病院 事務部長 事務職

【評価者】杉雄介 杉病院 院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
45-1	池川 彩	看護師	福島県	いわき湯本病院	慢性期病院における DX・ICT 活用による業務効率化とケアの質向上への取り組み
45-2	飯野 美里	介護福祉士	福岡県	小倉第一病院	病院職員におけるかりゆしウェア着用の実態と意識調査
45-3	中村 翔太	介護福祉士	山口県	光風園病院	病棟アシスタント導入後の業務構造の変化と職員の意識の変化
45-4	曾我 雄司	事務職	神奈川県	湘南慶育病院	医療 DX 化による業務改善：スマートフォン導入からその後の展開まで
45-5	菅 拓人	理学療法士	山口県	光風園病院	実稼働時間に基づく管理職へのデータフィードバックがリハビリテーション部門の生産性に与える影響
45-6	小仲 雅代	看護師	兵庫県	協和マリナホスピタル	院内 3 役の迅速な意思決定によるハラスメント対策—可視化した情報共有の取り組み—

46 11月19日（木） 17:40～18:40 業務改善③

【座 長】木原真一 志田病院 法人本部 本部長 事務職

【評価者】中西恵美 橋本病院 医療安全管理部 副主任 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
46-1	岩本 新一	事務職	鹿児島県	加治木温泉病院	現場課題の解決を目指した継続的業務改善の実践～小さな改善を積み重ねる業務標準化への挑戦～
46-2	松本 仁美	理学療法士	徳島県	江藤病院	当院リハビリテーション部における部署別業務環境と職場満足度の実態調査
46-3	福井 裕子	看護師	大分県	和田病院	ライフリズムナビ+Dr 導入による業務効率化と患者安全性向上の効果
46-4	安本 友子	看護師	大阪府	豊中平成病院	災害時の病院避難に備えるための J-HELP コースの参加者アンケート結果の解析
46-5	山下 彰代	看護師	大阪府	堺平成病院	臨床現場における外来看護師の怒りが生じる場面と自己の怒りのタイプおよび対処法の実態調査
46-6	望月 建吾	理学療法士	千葉県	富家リハビリセンター 花見川	介護サービス間の連携不十分事例について～担当者会議の重要性～

第14会場（福岡国際会議場 4F 412）

47 11月19日（木） 13:20～14:30 業務改善④

【座 長】塚本晃平 定山溪病院 渉外課 課長 事務職

【評価者】堤亮介 平成横浜病院 栄養部 本部長 管理栄養士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
47-1	石倉 弘美	事務職	島根県	鹿島病院	アンケートを活用した待合ロビーの環境改善と業務効率化の実践
47-2	小谷野 千恵子	管理栄養士	秋田県	外旭川病院	完調品導入による給食品質の標準化と持続可能な給食運営への取り組み
47-3	角田 隆行	事務職	富山県	西能みなみ病院	療養病棟における HR ジョイントを活用した看護師記録業務効率化と看護の質向上
47-4	木佐貫 美加	看護師	福岡県	北九州古賀病院	口頭申し送り時間の削減方法を検討し看護業務への効率化を図る～電子カルテによるツール活用方法を見直す～
47-5	宮城島 真希	看護師	静岡県	静岡徳洲会病院	療養病棟における夜勤業務の再構築による時間外業務削減への取り組み
47-6	藤本 聖子	介護福祉士	兵庫県	北摂中央病院	病棟スタッフとの協働による腰痛予防対策についての研究
47-7	鈴木 美代子	看護師	山梨県	介護付き有料老人ホーム恵信ヴィレッタ甲府	眠リスク導入に対する介護職員の業務負担の認識

48 11月19日（木） 14:30～15:40 業務改善⑤

【座 長】藤田徹 札幌西円山病院 経営管理部 課長 事務職

【評価者】瀬戸景子 南多摩病院 リハビリテーション科 係長 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
48-1	西別府 愛	看護師	鹿児島県	キラメキテラスヘルスケアホスピタル	アイソカル パワーゲルの導入による注入食 3 回から 2 回投与への移行と業務負担軽減効果
48-2	小濱 聡	理学療法士	山口県	宇部リハビリテーション病院	AI を用いて現場職員が自作した院内ヒヤリハット報告アプリ導入の試みー入力時間と使用感の比較
48-3	下平 隆太郎	理学療法士	佐賀県	有料老人ホーム爽風館	心理的公平性マネジメントによる潜在労働力の活用と人材定着 現場の暗黙知のシステム化への試み
48-4	原 峰子	看護師	福岡県	訪問看護ステーション ゆのそ	訪問看護記録の標準化と既存システム活用による記録時間短縮の効果～ムダ・ムラに着目した取り組み～
48-5	元木 貴絵	看護師	徳島県	中洲八木病院	院内手順の可視化で目指す安心の手術看護
48-6	高橋 史織	社会福祉士	北海道	札幌西円山病院	入院判定会議の廃止と「即断即決」体制の構築～FAX 電子化を契機とした入院調整業務改善～
48-7	松平 章吾	管理栄養士	兵庫県	中谷病院	病棟業務負担軽減を目的とした流動食配膳の個別化と運用改善～栄養科主導のシステム構築と業務改善の試み～

49 11月19日（木） 15:40～16:50 医療安全・事故対策①

【座 長】松本美穂 富家病院 透析室 室長 臨床工学技士

【評価者】山崎ひとみ 島の病院おたに 師長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
49-1	後藤 奨	理学療法士	愛知県	並木病院	医療安全レポートの効率化アップに向けた取り組み
49-2	篠浦 毅一郎	臨床検査技師	奈良県	奈良厚生会病院	当院における医療機器の安全管理—医療機器安全管理責任者の業務を、再確認から見直して—
49-3	村田 美奈	作業療法士	鹿児島県	キラメキテラスヘルスケアホスピタル	当院地域一般・地域包括ケア病棟における患者の状態把握向上に向けた取り組み～POCカードを導入して～
49-4	木村 紗彩	看護師	福岡県	京都病院	インシデントレポートの報告件数を増やすための取り組み
49-5	佐々 昂典	作業療法士	北海道	聖ヶ丘病院	ノーリフティングの取り組みによる職場環境の整備と腰痛有症率の変化について
49-6	宮崎 由佳	放射線技師	福岡県	篠栗病院	経鼻経管栄養チューブ確認における腹部単純 X 線撮影の有用性と誤挿入および胃内未到達時の対応
49-7	鬼塚 亮汰	理学療法士	北海道	苫小牧東病院	当院リハビリテーション部における RCA 分析を用いた医療安全研修の実践

50 11月19日（木） 16:50～17:50 医療安全・事故対策②

【座 長】坂本浩嗣 志田病院 法人本部 副本部長 診療放射線技師

【評価者】原田真澄 シーサイド病院 歯科部長 歯科医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
50-1	竹之下 なな	看護師	鹿児島県	キラメキテラスヘルスケアホスピタル	患者のベッドサイド環境調整とセンサー類早期解除への取り組みを目指した症例
50-2	森田 規矩也	介護福祉士	福岡県	若久サテライトビレッジ	事故分析精度の向上と事故件数の低減～3つの視点を用いた「なぜなぜ分析」の導入効果～
50-3	山田 太一	作業療法士	愛媛県	介護老人保健施設アイリス	介護事業所と医療機関の連携による急変時対応力向上への取り組み
50-4	榎本 奈緒子	看護師	静岡県	介護老人保健施設 プルメリア	転倒転落再発防止に向けた取り組み＜101歳女性利用者の繰り返される転倒に着目して＞
50-5	石山 由佳	介護福祉士	大阪府	多根第二病院	スタッフ全員が迷わない火災初期対応～物品チェック表とアクションカードを活用した仕組みづくりの再整備～
50-6	大石 杏衣	臨床工学技士	福岡県	Kiwi	慢性期医療機関における外部臨床工学技士による定期訪問型医療機器管理支援の一例

第15会場（福岡国際会議場 4F 413）

51 11月19日（木） 13:20～14:20 患者・家族とのかかわり①

【座 長】根生一治 富家病院 臨床心理室 室長 公認心理師

【評価者】須藤夏樹 内田病院 統括事務部長 事務職

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
51-1	淵脇 直也	理学療法士	鹿児島県	出水郡医師会立第二病院	予後が限られた多臓器機能障害患者に対する在宅復帰支援における意思決定支援の一考察
51-2	平子 真由美	看護師	福島県	いわき湯本病院	「外来看護師の役割と患者・家族支援についての検討」～セルフケア困難患者3事例の看護過程展開を通して～
51-3	鈴木 智美	看護師	福島県	いわき湯本病院	病棟における「幸せホルモン」を意識した家族食事会の取り組みとその効果
51-4	柏原 由美子	看護師	神奈川県	湘陽かしわ台病院	患者家族の理解を得られるために病状説明の見える化～レーダーチャートグラフを用いた取り組み～
51-5	戸田 奈々美	理学療法士	東京都	緑成会病院	介護役割を見据えた退院支援の実践報告
51-6	阿部 優美	看護師	北海道	札幌西円山病院	意思表示が困難な患者に対する意思決定支援における看護師の役割

52 11月19日（木） 14:20～15:20 患者・家族とのかかわり②

【座 長】木村尚人 南昌病院 病院長 医師

【評価者】藤田慎一郎 倉敷スイートホスピタル リハビリテーションセンター センター長 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
52-1	永谷 晃章	看護師	静岡県	静岡徳洲会病院	怒りを示す患者との会話における看護師の困難感とその要因
52-2	大島 恵美子	事務職	福岡県	介護老人保健施設高良台	デジタル時代における「人との信頼関係と温かさの維持」～事務職の取り組みと課題～
52-3	早野 香奈枝	看護師	兵庫県	めいわりハビリテーション病院	気管切開を有する脊髄損傷患者のコミュニケーション支援—QOL向上を目指した看護実践—
52-4	滝本 あかり	作業療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	段階的な外出・外泊練習における主介護者の実介助経験と在宅生活理解に関する検討
52-5	高橋 幸大	介護福祉士	茨城県	志村大宮病院	入浴介助への家族参加が患者および家族に与える効果
52-6	福元 千扇	理学療法士	広島県	島の病院おおたに	医療・介護依存度が高い患者の在宅退院における問題と課題 在宅退院が困難であった症例報告

53 11月19日（木） 15:20～16:20 患者・家族とのかかわり③

【座長】大畑修三 加藤病院 病院長 医師

【評価者】大畑雅宏 札幌西円山病院 医療福祉相談課 課長 社会福祉士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
53-1	藤田 知美	理学療法士	群馬県	美原記念病院	医師の患者満足度向上への取り組み～患者の具体的な意見を医師へフィードバックする仕組みの構築～
53-2	松延 美佑	理学療法士	福岡県	新古賀リハビリテーション病院みらい	当院療養病棟入院患者の1年生存率からみた「次の春」を見据えた支援の意義
53-3	大須賀 くる実	管理栄養士	東京都	大内病院	食事摂取量不良患者に対する食に関わる外出同伴介入が食欲・食事摂取量・精神症状に与える影響：実践報告
53-4	加藤 彩芳	介護支援専門員	北海道	札幌西円山病院	ケアマネジャーの臨床倫理的判断に関する探索的量的研究
53-5	永田 茜	看護師	愛知県	刈谷豊田東病院	陰部痛を抱える患者に対する全人的ケア
53-6	佐藤 希巳江	介護支援専門員	埼玉県	富家病院	サービス付き高齢者向け住宅入居に際してのご本人、ご家族の緊急時対応の意思確認とACPの共有について

54 11月19日（木） 16:20～17:30 患者・家族とのかかわり④

【座長】近内光代 福島寿光会病院 看護部長 看護師

【評価者】川淵一世 定山溪病院 訪問看護 師長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
54-1	遠藤 康博	作業療法士	東京都	鶴川リハビリテーション病院	療養病棟での患者への声かけアップの取り組み—日本地図を用いた情報共有シートの効果—
54-2	栗田 浩次	理学療法士	富山県	サンバリー高岡病院	在宅介護を続けるのにはそれなりの理由（わけ）がある～4つの転機～
54-3	山本 恵	臨床心理士	埼玉県	富家病院	慢性期医療における家族の心理的支援の特徴
54-4	川上 真央	看護師	静岡県	熱川温泉病院	認知症終末期患者の主観的リアリティに寄り添うACP—患者の思いを置き去りにしなかった一事例—
54-5	生方 瑛二	看護師	埼玉県	大宮共立病院	脳梗塞による失語症患者のニーズを捉えた関わりから自立支援に繋がれた事例
54-6	志田 ゆかり	介護福祉士	佐賀県	志田病院	低栄養状態利用者に対する取り組み～継続的な食事・水分管理を実施する事により心身機能回復した症例～
54-7	松浦 美香	看護師	佐賀県	志田病院	脊髄性筋萎縮症患者に対する自宅退院支援～地域包括ケア病棟における看護師の役割～

第16会場（福岡国際会議場 4F 414）

55 11月19日（木） 13:20～14:30 排泄ケア①

【座 長】石本恭太 小林記念病院 入院医療部 主査 理学療法士

【評価者】須賀晴彦 富家千葉病院 院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
55-1	沖田 聡嗣	看護師	滋賀県	琵琶湖養育院病院	療養型病棟における潜在的高残尿の早期発見とケア介入—排尿ケアチームの役割と実態からの検討—
55-2	稲葉 大介	介護福祉士	静岡県	介護医療院新富士ケアセンター	便秘体操と発酵食品の摂取による便秘改善への取り組み
55-3	後藤 尚恵	看護師	岐阜県	近石病院	おむつ装着状況の相互確認が排泄ケアの質向上に与えた効果
55-4	本橋 充恵	看護師	東京都	セントラル病院本院	温罨法・腹部マッサージ・離床による排便コントロールの実践
55-5	出口 誠也	介護福祉士	福岡県	若久シニアビレッジ	排泄ケアの適正化—おむつ使用基準の見直しと職員教育による効果—
55-6	石田 知也	看護師	東京都	平成扇病院	A 病院療養病棟看護・介護職におけるおむつ着用患者に対する IAD 予防ケアの認識と実践の実態
55-7	中川 果澄	看護師	滋賀県	ひかり病院	認知症を有する高齢患者の排尿自立支援に向けた取り組み—成功症例から排尿自立支援チーム活動を振り返る—

56 11月19日（木） 14:30～15:40 排泄ケア②

【座 長】高木緑 霞ヶ関南病院 看護部長 看護師

【評価者】諸江伸龍 セントラル病院 リハビリテーション科 係長 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
56-1	松田 潤子	看護師	滋賀県	ひかり病院	当院排尿自立支援チーム活動実績の報告
56-2	河面 雅俊	理学療法士	滋賀県	ひかり病院	排尿自立支援チーム対象患者の膀胱留置カテーテル抜去後のスコア変化と尿路感染症発生関連因子の検証
56-3	四牟田 千恵	介護福祉士	福岡県	若久サテライトビレッジ	高機能パッド導入による排泄ケアの質の向上と業務効率化
56-4	秋光 留美	介護福祉士	福岡県	水城病院 介護医療院	Simple is the Best—おむつ交換の基本に戻って見えたもの—
56-5	シティ ヌル エリサ	介護職	福岡県	新栄会病院	H 様の排泄支援を通して学んだ意思決定支援—本人の希望と安全確保の両立を目指して—
56-6	宮田 有沙	看護師	東京都	牧田リハビリテーション病院	療養病棟において患者の排便状況と看護師の排便管理意識に対し、腹部マッサージ導入がもたらす影響
56-7	浜野 順子	看護師	広島県	島の病院おおたに	陰部洗浄から陰部清拭への変更による業務効率化の効果と課題

57 11月19日（木） 15:40～16:50 排泄ケア③

【座 長】山根真彦 島の病院おたに 看護部 看護師

【評価者】竹尾悠介 特別養護老人ホームひまわり・安城 在宅介護部 部長 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
57-1	谷川 かおり	看護師	富山県	流杉病院	介護職員への行動変容を促す膀胱留置カテーテル管理教育の効果と課題
57-2	與那嶺 留美子	看護師	沖縄県	嶺井第二病院まちなと	長期臥床患者の下痢の改善に介入した事例研究
57-3	小笹 恵里子	看護師	千葉県	初富保健病院	King's Stool Chart を用いた排便アセスメントの可視化と個別性に応じた排便管理への取り組み
57-4	和田 浩治	医師	大分県	和田病院	当院における排尿自立指導の現状と今後の課題
57-5	河野 好紀	介護福祉士	愛媛県	松山リハビリテーション病院	その陰部洗浄、もっときれいに、もっと楽に!!～泡洗浄剤を活用した排泄ケア改善の実践報告～
57-6	外山 由美	看護補助者	大阪府	多根第二病院	オムツ交換の困りごとの軽減に向けたオムツフィッター活動
57-7	角田 幸恵	管理栄養士	神奈川県	介護老人福祉施設 ケアホーム三浦	特別養護老人ホームにおけるサンファイバーおよび MCT オイル添加が排便状況に与える影響

58 11月19日（木） 16:50～17:40 医療ソーシャルワーク①

【座 長】菊池和友 南昌病院 主任医療相談員 社会福祉士

【評価者】山口誠一 牟田病院 リハビリテーション部 部長 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
58-1	和田 美由紀	社会福祉士	広島県	小島病院	多重課題がある患者のニーズに応える退院支援～地域資源を組み合わせ、新たな住まいへ退院できた一例～
58-2	當麻 輝彬	社会福祉士	東京都	セントラル病院	相談員が入院判定を行う「Central Presto」の効果～5 日が 5 分に!? 選ばれる慢性期病院とは～
58-3	新垣 貴子	社会福祉士	沖縄県	嶺井第二病院まちなと	交通外傷で遷延性意識障害の患者様の、慢性期からリハビリにつながる橋渡し～家族に寄り添う退院支援～
58-4	国武 律子	社会福祉士	福岡県	水戸病院	ACP「私のつむぎノート」を活用した頼れる身寄りがない高齢者への包括的支援
58-5	稲嶺 孝	社会福祉士	沖縄県	宜野湾記念病院	退院翌日に永眠した終末期がん患者および家族の意思決定支援と自宅退院支援の検討

59 11月19日(木) 17:40～18:30 医療ソーシャルワーク②

【座長】大畑雅宏 札幌西円山病院 医療福祉相談課 課長 社会福祉士

【評価者】倉富暁子 新古賀リハビリテーション病院みらい 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
59-1	井ノ上 雄大	社会福祉士	奈良県	秋津鴻池病院	患者・家族の二面性を持つ夫婦の地域移行マネジメント～夫婦で生きる、夫婦で決める～
59-2	堀 尚子	社会福祉士	静岡県	静岡徳洲会病院	外科手術を拒否した大腸がん患者に対するソーシャルワーク支援～知的障害のある家族への支援を通じて～
59-3	桑原 真希	社会福祉士	富山県	西能みなみ病院	地域と協働した患者家族支援の一例～認知機能低下のある患者配偶者支援を通して～
59-4	高橋 透也	社会福祉士	北海道	札幌西円山病院	転院先病院の SNS を活用した退院支援の試み—家族の心理的受け入れを支える情報提供として—
59-5	鶴嶋 杏菜	社会福祉士	北海道	札幌西円山病院	身寄りのない患者支援における MSW の役割と支援体制の課題—当院 MSW アンケートと事例分析からの検討—

第17会場 (福岡国際会議場 5F 502)

60 11月19日(木) 13:20～14:20 口腔ケア①

【座長】佐野裕美子 霞ヶ関南病院 リハビリテーション部 副主任 言語聴覚士

【評価者】國見友恵 鶴巻温泉病院 診療技術部 栄養科 科長 管理栄養士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
60-1	三井 恵	看護師	東京都	ベトレヘムの園病院	レモンの香りと視覚的刺激による唾液の分泌と口臭の変化
60-2	渡邊 雄	歯科医師	福岡県	久英会クリニック	特別養護老人ホーム入所高齢者における口腔乾燥関連因子の検討
60-3	大見 あずみ	看護師	神奈川県	横浜鶴見リハビリテーション病院	療養病棟における口腔ケアの実施状況と標準化に向けた課題
60-4	清田 美穂	歯科衛生士	福岡県	シーサイド病院	介護医療院における口腔ケアの現状と意義
60-5	富来 博子	歯科衛生士	広島県	ナカムラ病院	認知症治療病棟における 8020 表彰を通じた歯科の役割への再考
60-6	常住 純子	介護福祉士	福岡県	水城病院 介護医療院	専門職の助言を活かした口腔ケア～手技の統一及び効果～

61 11月19日（木） 14:20～15:20 口腔ケア②

【座長】阪口英夫 陵北病院 副院長 歯科医師

【評価者】中山剛志 大久野病院 言語聴覚療法科 科長 言語聴覚士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
61-1	淵上 絵美子	歯科衛生士	福岡県	若久シニアビレッジ	看取り期における口腔衛生管理の実践～開口困難等による口腔内環境悪化に対する多職種・家族連携の有効性～
61-2	荒木 美優	看護師	鹿児島県	卓翔会記念病院	口腔ケアの改善を目指した歯科衛生士との連携
61-3	西木 稔子	歯科衛生士	福岡県	介護老人保健施設高良台	介護老人保健施設入所者におけるムセと口腔機能の関連
61-4	演題取下				
61-5	三浦 みなと	看護師	福岡県	杉病院	医療療養病棟における口腔ケアの標準化と個別化の両立
61-6	柴田 幸治	看護師	福岡県	津屋崎中央病院	誤嚥性肺炎“ゼロ”に向けた取り組み

62 11月19日（木） 15:20～16:40 地域包括ケア

【座長】小堀由紀恵 芳珠記念病院 看護局 次長 看護師

【評価者】中村大輔 まちだ丘の上病院 院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
62-1	足立 直美	看護師	徳島県	保岡クリニック論田病院	新たな地域医療構想を踏まえた当院の現状分析と今後の方向性
62-2	土屋 力也	社会福祉士	宮城県	石巻市中央地域包括支援センター	『幸せホルモン』運動や食事を意識し、閉じこもりを予防しよう。歩行と幸せホルモンの関係性を検証
62-3	植松 大喜	理学療法士	愛知県	高浜豊田病院	地域包括ケア病棟における連続臥床時間に着目した離床行動パターンの類型化
62-4	伊沢 知史	准看護師	長野県	上條記念病院	地域包括ケア病棟における独自退院支援チームの構築と現状
62-5	永井 洋一	社会福祉士	茨城県	龍ヶ崎市西部地域包括支援センター 牛尾病院	地域包括支援センター相談にみる地域特性の比較分析～龍ヶ崎市における3類型地区の検討～
62-6	芦沢 麗奈	看護師	静岡県	西伊豆健育会病院	寝る前に、心も体も温めよう～複数ケアの組み合わせで睡眠効率を向上したい～
62-7	本宮 慎也	作業療法士	岩手県	南昌病院	当院における運動器疾患患者の回復期リハビリテーション病棟と地域包括ケア病床の比較検討
62-8	羽場 公佑	理学療法士	岡山県	倉敷スイートホスピタル	在宅復帰の鍵となるDASC-8項目は何か～地域包括ケア病棟における検討～

63 11月19日(木) 16:40～17:20 感染症

【座 長】北野登美子 高良台コミュニティホスピタル 看護部長 看護師

【評価者】木村尚人 南昌病院 病院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
63-1	東根 綾子	臨床検査技師	徳島県	博愛記念病院	敗血症をきたした Pseudomonas fulva 感染症の一例
63-2	保田 穂乃香	看護師	福岡県	原病院	手指消毒剤を携帯することで効果及び手指消毒剤に対する意識の変化について
63-3	上野 真史	看護師	埼玉県	新越谷病院	手指衛生だけで良い? 耐性菌新規発生率からみえた慢性期における感染対策への取り組み(中間報告)
63-4	寺尾 直子	看護師	愛媛県	松山リハビリテーション病院	動線上に仕掛けられたナッジが導く「迷わない!」「自動で動ける!!」感染初動対応

第18会場 (福岡国際会議場 5F 503)

64 11月19日(木) 13:20～14:10 看護師特定行為①

【座 長】半村亜由美 富家千葉病院 看護部長 看護師

【評価者】小堀由紀恵 芳珠記念病院 看護局 次長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
64-1	山下 剛司	看護師	大阪府	泉佐野優人会病院	特定看護師における PICC 実践能力均等化を目指した体制構築の取り組み
64-2	北田 あおい	看護師	大阪府	大寿会病院	慢性期病院における教育的介入による特定看護師の役割認知向上と育成の課題
64-3	井口 朋子	看護師	埼玉県	富家病院	特定看護師の活動を富家病院、富家千葉病院で比較して～症例だけがすべてじゃない～
64-4	小田 譲嗣	看護師	広島県	島の病院おおたに	声を取り戻すケア：長期人工呼吸器管理患者への日中離脱と段階的発話支援の一例
64-5	山本 純	看護師	静岡県	西山病院	特定看護師による薬物療法マネジメントと個の価値観を尊重したケアのアプローチ

65 11月19日（木） 14:10～15:00 看護師特定行為②

【座 長】河原真由美 平成扇病院 看護部長 看護師

【評価者】松岡由香莉 光風園病院 看護主任 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
65-1	塚田 晃裕	看護師	群馬県	美原記念病院	特定行為看護師による終末期患者への意思決定・在宅療養支援～早期 PICC 挿入し在宅看取りがなされた 1 事例～
65-2	高木 友博	看護師	北海道	定山溪病院	当院における特定看護師の活動を通じて見た今後の課題と展望
65-3	櫻井 寿子	看護師	埼玉県	大宮共立病院	回復期リハビリ病棟での陰圧閉鎖療法による特定行為実践の変化
65-4	山田 勇太	看護師	佐賀県	山元記念病院	喀痰吸引タスクシェア推進に向けたリハビリテーションスタッフ研修後実践状況と課題
65-5	下忠 美輪	看護師	鹿児島県	加治木温泉病院	褥瘡治療に向け特定看護師の活動

66 11月19日（木） 15:00～16:20 薬剤

【座 長】秋山幸子 鶴巻温泉病院 診療技術部 薬剤科 係長 薬剤師

【評価者】木原真一 志田病院 法人本部 本部長 事務職

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
66-1	伊勢田 渚	薬剤師	福岡県	水戸病院	高齢者の服薬自己管理に対する薬剤師介入の効果—生活に寄り添う服薬支援の可能性—
66-2	清水 利保	薬剤師	富山県	西能みなみ病院	当院入院患者におけるポリファーマシー実態の調査
66-3	角谷 康恵	看護師	福岡県	上曽根病院	塩酸ミノサイクリンによる色素沈着症の 2 例
66-4	山崎 初音	薬剤師	埼玉県	大宮共立病院	プレクスピプラゾール服用中に悪性症候群を経験した 2 症例
66-5	小杉 正生	薬剤師	鹿児島県	加治木温泉病院	病院薬剤師が介入した II 型介護医療院におけるポリファーマシー対策および服薬簡素化の取り組み
66-6	湯瀬 敦	薬剤師	和歌山県	桜ヶ丘病院	持参薬切り替えにおける代行処方プロトコルの有用性に関する検討
66-7	大田 亜由美	薬剤師	群馬県	美原記念病院	回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟での薬剤師主導のポリファーマシー対策と地域への情報提供
66-8	田中 彩貴	看護師	香川県	橋本病院	回復期リハビリテーション病棟における内服自己管理マニュアル見直しの効果と課題

第19会場（福岡国際会議場 5F ロビー）

67 11月19日（木） 13:20～14:30 ターミナルケア①

【座 長】鈴木雄 光風園病院 診療科長 医師

【評価者】河野佳苗 有吉病院 介護医療院 療養棟棟長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
67-1	吉野 咲絵	看護師	大阪府	緑水会病院	「人生の最終段階における医療」に対するスタッフの意識変化～より良い看取り期ケアをめざして～
67-2	木村 大輔	看護師	宮城県	石巻健育会病院	ACP から学んだ終末期看護～家族と共につないだ患者の想い～
67-3	細田 佳代	看護師	島根県	安来第一病院	地域包括ケア病棟での緩和ケア～余暇活動を通してその人らしさを支える～
67-4	山田 玲子	看護師	兵庫県	介護医療院 トワイエ 尼崎	介護医療院における看取りケアの取り組み～開設 2 年を迎えて、その成果と課題～
67-5	荒木 美穂	作業療法士	石川県	芳珠記念病院	終末期がん患者への作業療法～大切な作業に介入し本人・家族の充実度に繋がった事例～
67-6	山田 里織	看護師	福岡県	原病院	終末期患者に看護が与える影響について～苛立ちや攻撃的な態度を示す認知症患者の 1 症例～
67-7	近藤 菜々美	看護師	群馬県	美原記念病院	障害者病棟における意思決定支援の継続性を支える要因—ACP 実施状況と疾患特性に着目した後方視的分析—

68 11月19日（木） 14:30～15:40 ターミナルケア②

【座 長】佐伯真一 光風園病院 病棟科長 看護師

【評価者】白川卓 橋本病院 リハビリテーション部 副部長 言語聴覚士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
68-1	北原 知世	看護師	静岡県	駿河西病院 介護医療院	痙攣発作を繰り返した患者とその家族の治療選択に関する検討～患者・家族の意思決定を支える看護～
68-2	上原 美奈	理学療法士	香川県	永生病院 介護医療院	今日一日をどう楽しむか～ターミナル患者と向き合って～
68-3	北山 龍之介	介護福祉士	東京都	介護医療院セントラル 大田	老健から介護医療院転換後のお看取り対応について—最期まで本人と家族に寄り添うために—
68-4	小野田 綾子	介護福祉士	岡山県	玉島病院介護医療院	介護医療院から在宅での看取りへ、思いをつないだ支援～最後に帰りたい場所へ～
68-5	長倉 彩香	介護福祉士	鹿児島県	吉田記念病院介護医療院	人生最期を迎える利用者とその家族へのアプローチ
68-6	末永 幸子	看護師	長崎県	介護医療院 恵愛荘	介護医療院における死亡退所者の実態からみた看取り支援の課題
68-7	竹嶋 唯	看護師	福岡県	高良台コミュニティホスピタル	地域包括ケア病棟における「看取りケアプランシート」の作成と運用の取り組み

一般演題

11月20日（金）

第3会場（福岡国際会議場 2F 201+202）

69 11月20日（金） 9:00～9:50 在宅医療①

【座 長】山崎ひとみ 島の病院おたに 師長 看護師

【評価者】岡純子 高良台コミュニティホスピタル 看護部 マネジャー 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
69-1	舟橋 一代	看護師	東京都	鶴川記念病院	2040 年を見据えた在宅医療機関の選択要因に関する研究～ケアマネージャー連携と ACP 推進の視点から～
69-2	北田 大地	看護師	兵庫県	西宮回生病院	術後の患者における退院後の日常生活の実態
69-3	川原 翔太	放射線技師	鹿児島県	加治木温泉病院	RPA・電子カルテ機能を活用した在宅チーム運営の効率化
69-4	宮寄 美樹	看護師	長野県	轟病院 轟訪問看護ステーション	血管性認知症で引きこもりを呈した利用者に対する多職種連携～笑顔の出現と QOL 改善に至った一症例～
69-5	川淵 一世	看護師	北海道	定山溪病院訪問看護ステーションエール	地域他職種連携についての認識調査

70 11月20日（金） 9:50～10:30 在宅医療②

【座 長】平田知寛 有吉病院 地域包括ケア病棟 病棟師長 看護師

【評価者】大畑修三 加藤病院 病院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
70-1	前田 俊輔	事務職	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	離島施設における安診ネットを用いた遠隔診療支援モデルの構築
70-2	大久保 琢矢	看護師	茨城県	フロイデひたちなか訪問看護ステーション	終末期前立腺癌利用者の療養目標の変化を支えた多職種連携の実践
70-3	志越 美香	看護師	東京都	介護医療院セントラル大田	在宅での看取りを希望されたご家族への支援を行った 1 事例～喀痰吸引指導を通して～
70-4	照沼 秀也	医師	茨城県	いばらき診療所ひたち	在宅医療における緊急往診時の疾患分類と治療指針

71 11月20日（金） 9:00～10:10 IoT・ロボット

【座 長】山本史子 芳珠記念病院 歯科口腔外科 医長 医師

【評価者】沼田一成 奈良東病院 リハビリテーション科 統括科長 作業療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
71-1	國田 歩美	看護師	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	地域包括ケア病棟での MEWS の活用～早期医療介入にむけて～
71-2	菊池 美咲	看護師	宮城県	石巻健育会病院	慢性期病院看護部における DX 導入の効果と今後の課題
71-3	伊藤 直城	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	生成 AI を用いた vibe-coding による回復期リハビリテーションの単位自動振り分けアプリ開発
71-4	川口 美由紀	介護福祉士	東京都	ケアセンターけやき	スタンディングリフトによるトイレ排泄支援がもたらした多面的な QOL 改善の一例
71-5	宮薊 頌太郎	理学療法士	石川県	芳珠記念病院	HAL [®] 腰タイプ介護・自立支援用を導入したパーキンソン病患者の一例
71-6	仁保 宏二郎	医師	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	個人基準域を考慮した Modified Early Warning Score (MEWS) による医療療養病床患者の状態変化の検知
71-7	小野 美雪	看護師	滋賀県	淡海ふれあい病院	DX 導入による残業時間削減要因の検討―地域包括ケア病棟と医療療養病棟の比較―

第4会場（福岡国際会議場 3F ロビー）

72 11月20日（金） 9:00～10:00 褥瘡・スキンケア①

【座 長】吉村愛子 イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院 師長 看護師

【評価者】池村健 博愛記念病院 リハビリテーション部 統括部長 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
72-1	鈴木 達也	理学療法士	神奈川県	平成横浜病院	地域包括医療病棟の褥瘡予防に向けた体圧測定を用いたポジショニング介入対象者の選定基準の検討：実践報告
72-2	菅村 美和	看護師	大阪府	緑水会病院	経鼻胃管チューブ挿入患者の皮膚障害を軽減するテープの固定方法の検討
72-3	中山 奈津美	介護福祉士	山口県	光風園病院	重度拘縮を伴う患者の褥瘡改善のためのポジショニングの再現化～再現性の高いケアの重要性～
72-4	松形 良祐	看護師	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	長期臥床患者に対する足裏角質ばっくの導入効果に関する研究
72-5	上村 優司	介護福祉士	熊本県	新生翠病院	スモールチェンジを活用したノーリフティングケアの実践～体位変換の負担軽減と褥瘡予防の取り組み～
72-6	板垣 昌史	理学療法士	北海道	定山溪病院	褥瘡ハイリスクラウンドによる院内褥瘡発生状況の変化について

73 11月20日（金） 10:00～11:00 褥瘡・スキンケア②

【座長】中尾健太郎 イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院 病院長 医師

【評価者】半村亜由美 富家千葉病院 看護部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
73-1	長野 光	理学療法士	熊本県	西日本病院	当院の神経難病患者における褥瘡発生に関連する日常生活動作等の因子の検討
73-2	平永 夏姫	理学療法士	富山県	流杉病院	褥瘡新規発生ゼロ作戦～早期発見・早期対応がカギ～
73-3	谷口 悠加	理学療法士	富山県	流杉病院	褥瘡患者へのポジショニングの有効性～体圧測定器を用いた再検討～
73-4	濱崎 解	看護師	富山県	島田病院	皮膚密着部の皮膚炎に対する吸湿粉末製剤の有用性
73-5	井坂 拓磨	介護福祉士	茨城県	地域密着型介護老人福祉施設 大宮フロイデドルフ	現場で防ぐ！！高齢者の肌トラブル問題と予防策～私の施設でのスキンケア～
73-6	志賀 皇江	介護福祉士	千葉県	総泉病院	介護士が取り組む、褥瘡へのアプローチ

74 11月20日（金） 11:00～11:50 褥瘡・スキンケア③

【座長】前田夏江 西崎病院 看護部長 看護師

【評価者】尾山直樹 橋本病院 回復期リハビリテーション病棟 主任 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
74-1	谷畑 有香	看護師	香川県	橋本病院	経鼻経管栄養患者の栄養状態に着目した褥瘡治療過程への看護介入
74-2	大川 瑞江	看護師	静岡県	きせがわ病院	多発褥瘡患者への多職種連携と継続看護の有効性～地域包括ケア病棟での皮膚・排泄ケア認定看護師の役割～
74-3	野田 楓姫	看護師	鹿児島県	吉田記念病院	褥瘡ケアの標準化に向けた取り組み～洗浄方法と体位変換に焦点を当てて～
74-4	駿河 健人	理学療法士	奈良県	秋津鴻池病院	食事摂取量の低下を伴う難治性潰瘍に対する多職種協働での治療～症例報告～
74-5	富阪 充希	作業療法士	奈良県	奈良東病院	褥瘡ケアチーム管理下で電気刺激療法を併用による改善を認めた難治性褥瘡の一症例

第5会場（福岡国際会議場 4F 402）

75 11月20日（金） 9:00～10:00 リハビリテーション①

【座 長】嶋崎眞治 永生病院 リハビリテーション科 科長 理学療法士

【評価者】根生一治 富家病院 臨床心理室 室長 公認心理師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
75-1	高木 武蔵	理学療法士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合 リハビリテーション病院	全介助患者用評価表 STAP の得点およびその 改善の有無が生命予後に及ぼす影響の検討
75-2	山田 隆司	理学療法士	大阪府	リハビリデイ河北	サービス活動 C における参加レベルの目標設 定と卒業率との関係～ICF 分類を用いた後方視 的分析～
75-3	中里 眸	言語聴覚士	東京都	永生病院	重度頸髄損傷患者の社会参加に向けた多職種 連携によるコミュニケーション手段の確立
75-4	山元 浩二	理学療法士	鹿児島県	吉田記念病院	離床へのアプローチ、多職種共同における業務 の効率化について
75-5	戸枝 亮	作業療法士	埼玉県	イムス三芳総合病院	終末期がん患者のがん性疼痛に対する離床を 含む、運動療法の効果について
75-6	松延 美佑	理学療法士	福岡県	新古賀リハビリテー ション病院みらい	療養病棟入院中の維持透析患者に対する午後 透析導入がリハビリ介入機会と身体機能改善 につながった一例

76 11月20日（金） 10:00～11:10 リハビリテーション②

【座 長】瀬戸景子 南多摩病院 リハビリテーション科 係長 理学療法士

【評価者】鈴木愛 千里リハビリテーション病院 看護課長 看護師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
76-1	杉浦 知希	理学療法士	静岡県	介護医療院 湖東病院	アセスメントシートを活用したリハ・栄養・ 口腔一体的取り組みにより ADL および栄養状 態の改善した症例
76-2	松尾 薫	理学療法士	兵庫県	介護老人保健施設ウエ ルハウス西宮	病院と連携した地域貢献活動について
76-3	齋藤 翔	理学療法士	東京都	緑成会病院	海外でのリハビリテーション教育における国 際生活機能分類導入の効果と臨床思考の変化
76-4	板谷 茜	理学療法士	北海道	愛全病院	運動負荷量計算式を用いた自重トレーニング の有効性についての予備的研究
76-5	瀬戸 慎太郎	理学療法士	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	当院における“おうちへ帰ろうハウス”での取 り組みについて～アンケートを通してみえて きた課題～
76-6	木村 尚人	医師	岩手県	南昌病院	回復期リハビリテーション病棟と地域包括ケ ア病棟の機能分担による効率的病棟運用の検 討
76-7	古賀 祥吾	理学療法士	福岡県	高良台コミュニティホ スpital	高齢入院患者に対する 4 週間の WAKEUP EMS 介入が筋量維持に与える影響

第6会場（福岡国際会議場 4F 403）

77 11月20日（金） 9:00～10:00 リハビリテーション③

【座 長】諸江伸龍 セントラル病院 リハビリテーション科 係長 理学療法士

【評価者】近内光代 福島寿光会病院 看護部長 看護師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
77-1	亀田 さゆみ	理学療法士	北海道	札幌西円山病院介護医療院にしまるポッケ	電動スタンディングリフトの使用が姿勢改善に繋がった事例—理学療法士の視点から—
77-2	山田 康子	理学療法士	北海道	愛全病院	集団的個別アプローチによる運動療法の効果～他者との一体感と安全性の両立～
77-3	佐藤 海斗	理学療法士	埼玉県	富家病院	療養病棟に入院する透析患者に対する足浴介入がバランス能力に及ぼす即時的影響
77-4	瀬口 渉	理学療法士	福岡県	さくら病院	当院障害者施設等一般病棟における簡易リフト導入の効果
77-5	田中 里歩	作業療法士	山口県	防府リハビリテーション病院	人生の最終段階を迎える患者に対するセラピストのかかわり～FIM 認知項目の理解・表出に着目して～
77-6	三浦 弘祐	理学療法士	熊本県	西日本病院	大腿骨近位部骨折患者における術前身体組成と退院時歩行形態との関連

78 11月20日（金） 10:00～11:00 リハビリテーション④

【座 長】藤田慎一郎 倉敷スイートホスピタル リハビリテーションセンター センター長 理学療法士

【評価者】河原真由美 平成扇病院 看護部長 看護師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
78-1	石動 恭平	理学療法士	埼玉県	埼玉県地域リハビリテーション・ケア サポートセンター霞ヶ関南病院	自立支援に資する専門職・市民への普及啓発—地域包括ケア自立支援事業の取組—
78-2	黒岩 美樹	理学療法士	大阪府	わかさ電間リハビリテーション病院	療養病棟の入院時運動 FIM20 点以下の重度 ADL 低下患者における離床が転帰先に及ぼす影響
78-3	小林 啓太	理学療法士	埼玉県	富家病院	療養病棟に入院する維持透析患者の筋量・栄養状態の変化やリハビリテーションとの関連
78-4	豊田 平介	理学療法士	東京都	医療法人社団永生会	総合事業における短期集中予防サービスのフレイル指標を用いた介護予防効果の検討
78-5	田中 秀和	作業療法士	神奈川県	北小田原病院	慢性期精神科病院リハビリテーション科におけるエンゲージメントの傾向と対策（第2報）
78-6	佐野 廉	理学療法士	静岡県	東名裾野病院	離床時間向上に向けた多職種の協力について

第7会場（福岡国際会議場 4F 404）

79 11月20日（金） 9:00～10:00 訪問（在宅）リハ①

【座 長】杉雄介 杉病院 院長 医師

【評価者】長野綾 橋本病院 認知症治療病棟 主任 看護師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
79-1	中村 裕樹	理学療法士	鹿児島県	八反丸リハビリテーション病院	回復期リハ病棟退院後におけるソフトランディングシートを用いた訪問リハの取り組みについて
79-2	尾崎 恵介	理学療法士	大阪府	岸和田平成病院	当院の訪問リハビリテーション利用に向けた取り組み
79-3	田代 大貴	理学療法士	千葉県	初富保健病院	在宅高齢者の訪問リハビリテーションで身体組成はどう変わるか？—家庭用体組成計を用いた検討—
79-4	野本 正仁	理学療法士	群馬県	美原記念病院	訪問リハにより社会的役割の再獲得に至った脳卒中の1例—SWOT分析を用いたストレングスアプローチの実践—
79-5	松本 徹也	理学療法士	東京都	緑成会病院	地域包括ケアにおける療法士の役割分析—地域包括支援センターからの訪問指導依頼内容のテキストマイニング—
79-6	牛島 史誉	理学療法士	福岡県	高良台コミュニティホスピタル	訪問リハビリテーション利用者におけるADL動作と家族介護者の介護負担感との関連性

80 11月20日（金） 10:00～10:50 訪問（在宅）リハ②

【座 長】山田晴之 桜ヶ丘病院 訪問看護ステーション 主任 看護師

【評価者】増田知子 千里リハビリテーション病院 セラピー部 部長 理学療法士

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
80-1	高坂 千恵	理学療法士	福島県	いわき湯本病院	訪問リハビリ利用者における入院予測因子の検討
80-2	福田 賢二	作業療法士	福岡県	訪問看護ステーション ゆのそ	月1回の低頻度運動介入が慢性期高齢者の身体機能維持に及ぼす影響～2年間の継続観察による実践報告～
80-3	高橋 祐輝	理学療法士	埼玉県	埼玉みさと総合リハビリテーション病院	回復期病院併設事業所における訪問リハビリテーション開始日数短縮に向けた連携強化の取り組み
80-4	谷出 優香	理学療法士	東京都	緑成会病院	訪問リハビリテーションにおける半側空間無視を呈す症例のHybrid Assistive Limb®腰タイプ使用後の経過報告
80-5	演題取下				

第8会場（福岡国際会議場 4F 405）

81 11月20日（金） 9:00～10:00 摂食・嚥下リハ①

【座 長】原口友子 加治木温泉病院 総合リハビリテーションセンター 技士長 言語聴覚士

【評価者】百戸直子 大久野病院 看護部長 看護師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
81-1	小田 海	言語聴覚士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合 リハビリテーション病 院	運動器疾患患者における退院時嚥下障害の臨 床的特徴—回復期リハビリテーション病棟 176 例の検討—
81-2	中園 幸希	言語聴覚士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合 リハビリテーション病 院	運動器疾患患者における退院時嚥下障害の入 院時リスク因子—回復期リハビリテーション 病棟 176 例の検討—
81-3	三野 英孝	言語聴覚士	大阪府	千里山病院	入院時経口摂取困難例に対する ST 介入の効果 と予後関連因子の検討
81-4	加藤 広夢	言語聴覚士	栃木県	那須赤十字病院	誤嚥性肺炎の経口移行と入院期間に対する要 因の検討
81-5	小林 恵実子	介護福祉士	埼玉県	大宮共立病院	経鼻経管栄養から経口摂取移行への事例の振 り返り～多職種協働に焦点をあてて～
81-6	白波瀬 元道	言語聴覚士	東京都	医療法人社団永生会	医療療養病棟入院患者の摂食嚥下機能の維 持・改善に影響を与える因子

82 11月20日（金） 10:00～10:50 摂食・嚥下リハ②

【座 長】中山剛志 大久野病院 言語聴覚療法科 科長 言語聴覚士

【評価者】堀野純子 大久野病院 看護部 科長 看護師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
82-1	林 知子	言語聴覚士	兵庫県	協和マリナホスピタル	頬膨らませ検査は簡易嚥下スクリーニング検 査として活用できるか
82-2	中西 順哉	言語聴覚士	兵庫県	南淡路病院	食思低下を呈する認知症患者への写真入りメ ニュー提示における視覚的フィードバック効 果の検証
82-3	清水 鈴佳	歯科衛生士	岐阜県	近石病院	病棟専従歯科衛生士の介入により経口摂取再 開可能となった進行性核上性麻痺の一症例
82-4	石橋 尚基	言語聴覚士	千葉県	新八千代病院	慢性期摂食嚥下障害に対するリハビリテー ション・栄養・口腔管理を一体的に実施する 食支援入院の報告
82-5	野口 圭一	看護師	群馬県	美原記念病院	早期経口摂取へのアプローチの有用性～自院 急性期からの転床患者と他院からの直接入院 患者との比較検討～

第9会場（福岡国際会議場 4F 406）

83 11月20日（金） 9:00～10:00 摂食・嚥下リハ③

【座 長】名古将太郎 千里リハビリテーション病院 セラピー部 コーチ 言語聴覚士

【評価者】阪口英夫 陵北病院 副院長 歯科医師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
83-1	森本 耕平	言語聴覚士	埼玉県	新越谷病院	VF 定量評価に基づく段階的介入が奏功したワレンベルグ症候群による重度 UES 開大障害の一例
83-2	中谷 布美子	看護師	群馬県	美原記念病院	回復期リハ病棟における摂食機能療法の有用性～傾向スコアマッチングを用いた摂食レベル利得の比較検討～
83-3	藤丸 剛平	言語聴覚士	福岡県	若久シニアビレッジ	サービス付き高齢者向け住宅入居者に関する実態調査～嚥下に関する評価や取り組みの必要性～
83-4	皆川 朋也	言語聴覚士	愛媛県	南高井病院	経口移行への取り組みと摂食嚥下チームの活動
83-5	吉野 桃代	言語聴覚士	北海道	定山溪病院	当院における VF 検査の実態調査～ST による予後予測と FILS 推移の分析～
83-6	川村 和史	言語聴覚士	埼玉県	大宮共立病院	疾患・年代・食形態別における舌筋力値の比較検討～たんたんめーたーの有用性と今後の課題～

84 11月20日（金） 10:00～11:00 摂食・嚥下リハ④

【座 長】白川卓 橋本病院 リハビリテーション部 副部長 言語聴覚士

【評価者】菅原さとみ 吉田記念病院 看護部長 看護師

〈第14回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
84-1	江口 美保	歯科衛生士	長崎県	恵寿病院	中心静脈栄養 (IVH) 患者の完全経口摂取移行への取り組み—完全経口摂取移行達成者と非達成者の比較—
84-2	井上 暖大	言語聴覚士	徳島県	博愛記念病院	長期臥床に伴う廃用症候群後の嚥下障害を呈した一例について
84-3	大木 さおり	言語聴覚士	東京都	大久野病院	氷菓を用いた重度嚥下障害患者に対する摂食訓練の試み
84-4	岩佐 珠美	言語聴覚士	福岡県	介護老人保健施設高良台	介護老人保健施設における経口移行加算の取り組み～タックマンモデルを参考にした多職種連携支援～
84-5	二村 真理子	看護師	富山県	いま泉病院	摂食機能療法推進のための取り組み～介入件数増加と訓練効果を目指して～
84-6	小林 剛	言語聴覚士	神奈川県	元氣会横浜病院	慢性期嚥下障害患者における完全経口移行の時間分布と関連因子～継続介入の可能性を示した 200 日追跡研究

第11会場（福岡国際会議場 4F 409）

85 11月20日（金） 9:00～10:00 チーム医療①

【座長】松原直矢 島の病院おたに 総合診療科 医師

【評価者】清宮大翔 平成扇病院 リハビリテーション部 部長代理 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
85-1	吉川 仁	放射線技師	奈良県	南和病院	院内勉強会における医療画像の情報共有～多職種の相談例まで～
85-2	多山 沙織	管理栄養士	熊本県	悠紀会病院	経鼻経管栄養と経口摂取併用患者の自宅退院に向けた取り組み
85-3	浅野 杏奈	事務職	千葉県	初富保健病院	地域医療連携システムを利用した医用画像の提供
85-4	松田 眞名已	介護福祉士	大阪府	緑水会病院	シャボンラッピングを用いてスタッフの意識・行動の変容
85-5	國生 真希	看護師	北海道	札幌西円山病院	高等支援学校との連携による看護補助者体験実習の導入と初期評価～人材パイプライン形成の可能性～
85-6	多田 雅史	理学療法士	大阪府	坂本病院	当院における長時間離床促進への取り組み 多職種連携による離床環境の再構築とその定着状況

86 11月20日（金） 10:00～11:00 チーム医療②

【座長】田中譲 みなみ野病院 院長 医師

【評価者】村越大輝 富家千葉病院 リハビリテーション室 室長 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
86-1	堀 百合子	看護師	広島県	メリィホスピタル	ポストアキュート・回復期機能をもつ病院における患者サポート体制～多職種チームによる支援の推進～
86-2	篠崎 美恵子	歯科衛生士	福岡県	北九州古賀病院	過去の病棟摂食嚥下ラウンド結果から次年度のラウンド内容を立案する
86-3	青木 佳子	作業療法士	東京都	多摩丘陵病院	当院の骨粗鬆症リエゾンサービス (OLS) チームの取り組み
86-4	小杉 淳子	看護師	静岡県	静岡徳洲会病院	手術室看護師による麻酔科術前診察立ち合いの実践—麻酔科医師との連携強化による周術期安全管理の向上—
86-5	板井 一馬	介護福祉士	群馬県	美原記念病院	回復期リハ病棟における介護福祉士の専門性発揮に向けた取り組み～介入の標準化とカンファレンス参画～
86-6	新村 有紀子	事務職	千葉県	初富保健病院	医局秘書による医療従事者の資格取得支援

87 11月20日（金） 11:00～12:00 チーム医療③

【座 長】川淵一世 定山溪病院 訪問看護 師長 看護師

【評価者】大塚昌紀 高良台コミュニティホスピタル 院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
87-1	高木 雅史	介護福祉士	山梨県	城東病院	離床から生活へ～慢性期における「楽しい離床」の取り組み～
87-2	下原 文子	看護師	福岡県	さくら病院	多職種協働による排痰ケアの確立～カフアシスト導入による肺炎予防への取り組み～
87-3	東 弘太	看護師	埼玉県	富家病院	慢性期病院における経口摂取再開率向上に向けた取り組み～富家病院、富家千葉病院で比較して～
87-4	大里 拓也	看護師	沖縄県	北中城若松病院	自分らしく過ごすために～みんなで支えるチーム支援～
87-5	永田 真那	看護師	静岡県	伊佐見訪問看護ステーション	認知症を伴う独居がん患者の在宅継続にむけた支援～介護サービスの活用と緊急時受け入れ態勢の構築～
87-6	演題取下				

第12会場（福岡国際会議場 4F 410）

88 11月20日（金） 9:00～10:00 チーム医療④

【座 長】須賀晴彦 富家千葉病院 院長 医師

【評価者】小川佳代子 富家病院 リハビリテーション室 室長 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
88-1	阿久津 伸江	介護福祉士	千葉県	総泉病院	高齢者の爪トラブルへの関わり～フットケアチームの活動～
88-2	清水 海翔	作業療法士	長野県	轟病院	院内デイケアの効果と今後の課題
88-3	宇田川 楓	理学療法士	島根県	介護医療院 昌寿苑	ポジショニングにおける多職種間の認識の違い
88-4	中川 佳奈	管理栄養士	富山県	西能みなみ病院	在宅の摂食嚥下障害患者とその家族への調理指導と食事支援のため、栄養・リハビリ・介護とで連携した事例
88-5	脇坂 恵美	臨床工学技士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	人工呼吸器装着患者の退院支援における多職種カンファレンスへの臨床工学技士参画の有用性
88-6	首藤 智一	作業療法士	岐阜県	近石病院	多職種連携を促進するリハビリ診療記録のあり方の検討—当院回復期病棟でのニーズ調査と課題の抽出—

89 11月20日（金） 10:00～11:00 チーム医療⑤

【座 長】山口誠一 牟田病院 リハビリテーション部 部長 理学療法士

【評価者】坂本浩嗣 志田病院 法人本部 副本部長 診療放射線技師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
89-1	告 由加里	看護師	茨城県	協和南病院	長期療養患者の退院支援～多職種連携の効果と今後の課題～
89-2	大石 美賀子	介護福祉士	静岡県	静岡徳洲会病院 介護医療院ゆうかりの木陰	個人に合わせた食事環境の構築～安全に食事を楽しむために～
89-3	井野 純子	介護福祉士	秋田県	外旭川病院	療養病棟における介入拒否の軽減に向けた取り組み～成功事例の振り返りを通して～
89-4	石垣 秀記	臨床工学技士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	当院における人工呼吸器装着患者の気管切開による人工呼吸管理について
89-5	碓 愛	看護師	福岡県	みらい介護医療院	移乗サポートロボット Hug を用いたトイレ誘導が身体機能および排泄状況に及ぼす影響
89-6	鈴木 由似	看護師	北海道	発寒リハビリテーション病院	セル看護提供方式の導入が看護師間の協力体制における課題

90 11月20日（金） 11:00～12:00 チーム医療⑥

【座 長】柚田真知子 新栄会病院 リハビリテーション課 課長 理学療法士

【評価者】石本恭太 小林記念病院 入院医療部 主査 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
90-1	和田 宏幸	放射線技師	山口県	光風園病院	当院における診療放射線技師によるタスクシフトの試み～患者搬送業務を通じた多職種連携と業務効率の効果～
90-2	淡路 晶也	理学療法士	広島県	島の病院おおたに	情報共有機会の増加に向けた取り組みについて
90-3	荒井 利章	臨床検査技師	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	チームで繋ぐ急変時対応～リハビリテーション病院における多職種連携 BLS 研修の試み～
90-4	徳永 智史	作業療法士	茨城県	牛尾病院	心理的安全性と職業性ストレス指標および仕事継続意思との関連―法人内部署比較による検討―
90-5	嶋田 浩希	理学療法士	和歌山県	桜ヶ丘病院	チェックリストを活用した多職種介入による技能実習生の移乗介助能力習得支援
90-6	田畑 皇太郎	理学療法士	鹿児島県	国分中央病院	閉じ込め症候群患者における意思伝達支援ツールの開発：眼球運動を用いた連携の質的向上

第13会場（福岡国際会議場 4F 411）

91 11月20日（金） 9:00～10:10 チーム医療⑦

【座 長】小林達也 島の病院おたに 副院長 医師

【評価者】湯瀬敦 桜ヶ丘病院 薬局 課長 薬剤師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
91-1	田之上 恵子	看護師	北海道	札幌西円山病院	病棟主導によるミールラウンド体制の構築～食支援力の向上と多職種 OJT の促進～
91-2	新村 雅	事務職	鹿児島県	加治木温泉病院	多職種連携による退院サマリー作成率 100%に向けた取り組み
91-3	大石 達也	理学療法士	静岡県	熱川温泉病院	COVID-19 感染後廃用症候群患者に対する在宅酸素療法導入を見据えた多職種連携
91-4	神永 晃輝	社会福祉士	茨城県	フロイデ総合在宅サポートセンター大宮	意思決定を尊重した多職種連携による独居老人への支援～その人らしい暮らしを目指して～
91-5	三浦 秀展	理学療法士	兵庫県	南淡路病院	精神療養病棟におけるリハビリテーションスタッフ増員に伴う多職種連携体制の再構築と運用の現状
91-6	土屋 諒夏	理学療法士	東京都	緑成会整育園	重度脳性麻痺者の大腿骨骨折後に対し、多職種連携による介助方法の統一とポジショニング介入を行った一例
91-7	井村 利幸	看護師	愛媛県	HITO 病院	回復期リハビリテーション病棟における多職種協働セルケアシステム®導入の効果

92 11月20日（金） 10:10～11:10 チーム医療⑧

【座 長】松岡由香莉 光風園病院 看護主任 看護師

【評価者】森祥子 豊中平成病院 リハビリテーション部 部長 作業療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
92-1	蛭田 祐子	看護師	埼玉県	城南中央病院	難治性褥瘡に対して行った多職種連携と古田メソッドでのアプローチ
92-2	越智 麻美	看護師	大阪府	緑水会病院	看護師とケアスタッフ間のコミュニケーションに対するサンクスカードの効果
92-3	三木 英稔	理学療法士	愛媛県	松山西病院	介護スタッフとリハビリスタッフのコミュニケーションー移乗・ポジショニング相談練習会から得られたものー
92-4	奥谷 翔太	理学療法士	香川県	永生病院	患者の転帰と機能・栄養の関連分析～令和 1 年から 6 年間の動向調査より～
92-5	重 亜希子	事務職	福岡県	水戸病院	地域包括診療料(かかりつけ医)を中心とした外来 ACP の推進
92-6	坂村 菜緒	理学療法士	広島県	島の病院おたに	退院支援を見据えた多職種協働の仕組みづくり～カンファレンス以外の目標共有機会を活用して～

93 11月20日（金） 11:10～12:00 臨床検査

【座長】倉富暁子 新古賀リハビリテーション病院みらい 医師

【評価者】鈴木雄 光風園病院 診療科長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
93-1	五十嵐 創	放射線技師	北海道	愛全病院	画像解析の視点から考える 一般撮影・ポータブル
93-2	坂田 有紀	放射線技師	千葉県	初富保健病院	在宅 XP 検査の増加に伴う対象患者と検査目的の傾向と推移の調査報告
93-3	山下 ほのか	放射線技師	福岡県	篠栗病院	人工股関節周囲 MRI の画質改善に関する検討
93-4	藤沢 あすか	臨床検査技師	埼玉県	富家病院	生存日数に関連する因子の検討～血清アルブミン値と InBody S10 による位相角に注目して～
93-5	相部 奈都美	臨床検査技師	佐賀県	志田病院	健診受診者の便潜血検査に関する調査

第14会場（福岡国際会議場 4F 412）

94 11月20日（金） 9:00～10:00 介護医療院①

【座長】ゴードマンズ由佳理 介護医療院 湖東病院 師長 看護師

【評価者】井口朋子 富家病院 看護部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
94-1	山之上 弘樹	医師	静岡県	介護医療院ゆうかりの木陰	院内併設介護医療院が医療療養病棟に与える影響について
94-2	小野 春菜	看護師	宮城県	介護医療院松島みどりの家	介護医療院における介護福祉士の特定行為取得後の不安軽減への取り組みと課題
94-3	田岡 弓子	言語聴覚士	奈良県	奈良厚生会病院	「もう一度家族と食卓が囲みたい」 絶飲食から外食実現まで 6 年間の軌跡
94-4	長谷川 諒	作業療法士	新潟県	三条東病院	手指の機能と整容・衛生面の改善を目指した介入と病棟とのチーム連携について
94-5	橋本 理絵	管理栄養士	東京都	永生病院	認知症を有する高齢者における経口摂取再開の一例—介護医療院での多職種連携を通して—
94-6	高階 遥香	管理栄養士	福岡県	有吉病院	介護医療院における管理栄養士の役割～食事ラウンドと多職種連携による関わり～

95 11月20日（金） 10:00～11:00 介護医療院②

【座 長】加藤奈津 介護医療院 湖東病院 訪問看護ステーション 所長 看護師

【評価者】石井翔悟 平成扇病院 リハビリテーション部 主任 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
95-1	谷口 未弥子	看護師	広島県	介護医療院ひいろ	高齢者の脱水予防に対するとろみ自動調理サーバー活用の有効性
95-2	米沢 百合	介護福祉士	福岡県	有吉病院	ユニットリーダーの指導による整容改善効果—身だしなみを整えることから始まった入所者の日常の変化—
95-3	井上 志朗	介護支援専門員	福岡県	水戸病院介護医療院	そのひとらしく過ごすために～離床活動の取り組み～
95-4	石田 享央	介護支援専門員	愛知県	介護医療院名南ふれあい病院	介護医療院における退所支援の実践～失語症・高次脳機能障害を有する利用者の居住系施設への退所事例～
95-5	大下 拓人	作業療法士	香川県	永生病院介護医療院	介護医療院ショートステイが広げる支援の多様性～在宅生活の課題解決に向けて～
95-6	田野 良実	理学療法士	千葉県	総泉病院	参加者主体の集団音楽活動が高齢者の自己効力感に与える影響～「Happiness #& b」の取り組みを通して～

96 11月20日（金） 11:00～12:00 介護医療院③

【座 長】高倉美里 博愛介護医療院 師長 看護師

【評価者】後藤浩水 新古賀リハビリテーション病院みらい 介護医療院 主任 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
96-1	向崎 弥生	看護師	岡山県	柴田病院 介護医療院	その人らしさに着目した看護介入による行動変容と ADL 改善
96-2	山藤 剛史	作業療法士	滋賀県	草津介護医療院	離床活動、外出支援を通じて孫の結婚式へ～2025 年度の活動報告～
96-3	山上 康太	介護福祉士	広島県	介護医療院ひいろ	日常生活自立度 C の入所者にファールー位を導入した際にもたらされる効果
96-4	田宮 浩司	言語聴覚士	愛知県	介護医療院 名南ふれあい病院	介護医療院における外出時の食支援～意識調査に基づく支援ツールの作成～
96-5	大住 真敬	医師	徳島県	碩心館病院	介護医療院における心不全療養指導士の功績
96-6	石川 朝子	作業療法士	北海道	札幌西円山病院介護医療院	介護医療院における認知症短期集中リハビリは生活機能向上に寄与するのか

第15会場（福岡国際会議場 4F 413）

97 11月20日（金） 9:00～10:00 介護①

【座長】長瀬正徳 陵北病院 副院長 医師

【評価者】高木緑 霞ヶ関南病院 看護部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
97-1	橋本 武顕	理学療法士	福岡県	シーサイド病院	劣化したスライディングシートの使用が介助負担に与える影響 静止摩擦係数と介助者アンケートによる検証
97-2	畑生 順子	介護福祉士	福岡県	北九州古賀病院	臥床患者の拘縮・褥瘡予防としたポジショニングについての検討
97-3	町井 保乃葉	介護福祉士	埼玉県	介護老人保健施設 瑞穂の里	アロマディフューザーによる環境改善
97-4	吉田 雄基	介護職	三重県	長島中央病院	職員の身体的軽減に向けた取り組み～介助方法の見直しと福祉用具の活用による腰痛軽減を目指して～
97-5	安田 真子	介護福祉士	福岡県	小倉第一病院	介護福祉士が病院を選び、働き続けるために必要な要因―「採用の質向上プロジェクトチーム」の活動評価―
97-6	山田 多希子	介護福祉士	福岡県	介護老人保健施設 高良台	全介助からの再起―自己効力感を高めるスモールステップの積み重ねと効果―

98 11月20日（金） 10:00～11:00 介護②

【座長】安達麻美 杉病院 看護部長 看護師

【評価者】安本友子 豊中平成病院 看護部 関西エリア部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
98-1	漆畑 智貴	介護福祉士	静岡県	静岡徳洲会病院	入浴ダイヤグラム導入による入浴業務改革―回復期リハビリテーション病棟介護職員の意識の変化―
98-2	蛭田 桜	介護福祉士	神奈川県	横浜病院	ユマニチュードの「見る」「話す」「触れる」技術を用いて介護抵抗のある患者様のケアに取り組んだ一例
98-3	浅井 香奈	介護福祉士	静岡県	掛川東病院	介助グローブ導入による体位変換時の身体的負担軽減
98-4	渡辺 広美	介護福祉士	兵庫県	いなみ野病院介護医療院	入所者中心のケアプラン作成を目指して～「人型シート」を用いた情報共有と課題分析の充実に向けた試み～
98-5	常森 誠	介護福祉士	愛知県	並木病院	現代シニアのくっつく肌を守れ！～皮膚密着部位におけるスキントラブル予防ケアの実践～
98-6	畝 正義	介護福祉士	福岡県	高良台コミュニティホスピタル	リハビリテーション病院における介護士と看護師の連携・協働における課題

99 11月20日(金) 11:00～12:00 介護③&介護施設①

【座長】大塚隆大 介護老人保健施設高良台 看部 部長 看護師

【評価者】津留崎孝義 新古賀リハビリテーション病院みらい 副看護部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
99-1	橋本 明子	介護福祉士	東京都	大久野病院介護医療院	ハンドロールを活用した手指の屈曲拘縮改善に向けた取り組み
99-2	古賀 彩実	介護福祉士	福岡県	高良台コミュニティホ スピタル	介護計画におけるアセスメントの重要性と課題
99-3	田尾 遥香	介護福祉士	滋賀県	草津介護医療院	抱え上げない介護の導入～介助者視点～
99-4	小松 憲一	施設管理者	大分県	住宅型有料老人ホーム 和楽苑	接遇評価基準の標準化への取り組み(第3回報告)～行動指標化による自己・他者評価の乖離解消～
99-5	高瀬 由香里	介護福祉士	福岡県	軽費老人ホームゆのそ 苑	軽費老人ホームにおける介護予防運動教室の効果検証
99-6	中村 可奈美	管理栄養士	福岡県	軽費老人ホームゆのそ 苑	軽費老人ホームにおける入居者の変遷

第16会場(福岡国際会議場 4F 414)

100 11月20日(金) 9:00～10:00 介護施設②

【座長】河原和美 吉田記念病院 介護医療院 師長 看護師

【評価者】秋山幸子 鶴巻温泉病院 診療技術部 薬剤科 係長 薬剤師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
100-1	吉田 礼杏	理学療法士	東京都	ケアホーム足立	施設入所高齢者における糖尿病の有無と生活機能の関連
100-2	川原 翼	介護福祉士	福岡県	若久短期入所生活介護	眠りスキャン活用による睡眠の質向上への取り組み 15時以降の活動提供と覚醒リズムが夜間睡眠に与える影響
100-3	東 侑希	介護福祉士	福岡県	介護老人保健施設 高 良台	青竹踏みによる頻尿改善効果
100-4	大谷 彩	支援相談員	埼玉県	介護老人保健施設 瑞 穂の里	ドッグセラピー導入について～アンケート結果からみる今後の課題～
100-5	平山 祐司	介護福祉士	福岡県	若久シニアビレッジ	眠り SCAN を活用した睡眠薬減量・中止への取り組み
100-6	山崎 規彦	看護師	大分県	介護老人保健施設 和 光園	超強化型老健における在宅復帰支援でのご夫婦の看取りケア

101 11月20日（金） 10:00～11:00 介護施設③

【座長】河野佳苗 有吉病院 介護医療院 療養棟師長 看護師

【評価者】長谷川奨斗 世田谷記念病院 リハビリテーション部 エリア部長 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
101-1	市川 扶美子	言語聴覚士	三重県	ヴィラ四日市	食事応援依頼表と食事ミーティングを活用した多職種連携
101-2	中島 由美	理学療法士	香川県	橋本病院	介護老人福祉施設での短期集中個別リハビリテーションが及ぼす影響～動作能力への効果について～
101-3	中野 美咲	介護福祉士	福岡県	若久シニアビレッジ	語りから始まるナラティブケア～利用者の価値観を活かした個別支援の実践～
101-4	馬場 珠美	理学療法士	福岡県	メディカルケア南ヶ丘	介護付き有料老人ホームにおける生活リハビリ導入による ADL 維持向上への取り組み
101-5	石川 和範	介護福祉士	茨城県	御前山フロイデガルテン	慢性期におけるユニットケアの模索
101-6	荒木 駿太	相談員	長崎県	介護医療院 恵愛荘	併設病院との連携強化により短期入所生活介護利用者の体調悪化時対応及び在宅復帰期間短縮につながった検討

第17会場（福岡国際会議場 5F 502）

102 11月20日（金） 9:00～10:00 スタッフ育成①

【座長】樋沢まみ 永生病院 師長 看護師

【評価者】佐伯真一 光風園病院 病棟科長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
102-1	斉藤 真奈美	介護福祉士	北海道	聖ヶ丘病院	外国人介護職員育成への取り組み
102-2	西村 卓也	理学療法士	大阪府	泉佐野優人会病院／岸和田平成病院	グループ内 2 病院におけるリハビリテーション提供量と質的成果の比較検討
102-3	林 千恵	看護師	山口県	宇部リハビリテーション病院	15 分 AI アニメ動画による摂食嚥下教育の実践—楽しみながら学べる院内研修を目指して—
102-4	本村 洸人	言語聴覚士	鹿児島県	キラメキテラスヘルスケアホスピタル	オンデマンド配信と少人数制を組み合わせた院内勉強会の有用性の検討
102-5	前田 和子	看護師	山口県	宇部リハビリテーション病院	回復期リハビリテーション病棟における看護観の共有を目的とした段階的教育プログラムの実践
102-6	上野 繕広	作業療法士	東京都	永生病院	地域包括ケアシステムに関する継続教育の取り組み—当院作業療法士の認識変化を通して—

103 11月20日（金） 10:00～11:00 スタッフ育成②

【座 長】竹尾悠介 特別養護老人ホームひまわり・安城 在宅介護部 部長 理学療法士

【評価者】貴志千秋 桜ヶ丘病院 リハビリテーション科 科長 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
103-1	中本 智恵	看護師	広島県	介護医療院ひいろ	プリセプターの新人看護師指導における困難感と受けたい支援
103-2	角田 優実	看護師	山梨県	恵信甲府病院	患者さん・職員間の接遇改善～選ばれる病院を目指して～
103-3	鈴木 美江子	看護師	静岡県	静岡徳洲会病院 介護医療院 ゆうかりの木陰	病院看護師を対象とした介護医療院留学プログラムからみえた施設看護師の教育的役割
103-4	藤井 みゆき	看護師	鹿児島県	加治木温泉病院	看護職と介護職がとにもつくる「看多機のチーム力」～組織コミットメントを高めるために～
103-5	南山 莉緒	理学療法士	北海道	定山溪病院	呼吸コンサルテーションチームのラウンド活動とその効果～スタッフ教育・患者変化の視点から効果検証する～
103-6	平野 裕人	理学療法士	鹿児島県	国分中央病院	医療 DX における生成 AI と多職種の集合知を統合した接遇教育標準化モデルの作成

104 11月20日（金） 11:00～12:00 スタッフ育成③

【座 長】原田真澄 シーサイド病院 歯科部長 歯科医師

【評価者】廣谷和香 千里リハビリテーション病院 セラピー部 コーチ 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
104-1	新山 彩	看護師	愛媛県	道後温泉病院	地域包括ケア病棟における円滑な退院支援に向けた実態調査
104-2	山根 勝	看護師	島根県	安来第一病院	医療療養病棟の新人看護師が患者とのコミュニケーションで感じている困難さの実態
104-3	大西 慶治	事務職	愛媛県	特別養護老人ホーム豊寿園	高齢者施設における介護の質を高めるための組織化と活動の効果—ケアの質改善に向けた取り組み—
104-4	井上 忠和	介護福祉士	福岡県	看護小規模多機能型居宅介護ゆのそピア	異業種から入職した介護士に対する心身負担軽減への関わり～ユマニチュード「触れる」の実践を通して～
104-5	徳原 和明	理学療法士	山口県	周南リハビリテーション病院	キャリア支援の一環として登録理学療法士の取得率向上を目指した取り組みと今後の展望
104-6	村山 一郎	作業療法士	兵庫県	東浦平成病院	新人向け多職種連携教育における指導スタイルの比較と現場実践の課題

第18会場（福岡国際会議場 5F 503）

105 11月20日（金） 9:00～10:00 経営管理全般①

【座 長】田島紘己 キラメキテラスヘルスケアホスピタル 副理事長 医師

【評価者】佐野裕美子 霞ヶ関南病院 リハビリテーション部 副主任 言語聴覚士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
105-1	三浦 陵人	事務職	東京都	鶴川リハビリテーション病院	選ばれる病院になる為のアップデート～開院10年目の変化と挑戦～
105-2	牛島 綾子	管理栄養士	福岡県	高良台コミュニティホスピタル	グループ内施設における給食運営実態調査と経営改善にむけた取り組み
105-3	堤 賢太郎	作業療法士	福岡県	金隈病院	医療療養におけるリハビリテーション体制再編：運営プロセス・患者アウトカム・経営指標に着目した効果検証
105-4	早田 佳子	保健師	福岡県	高良台コミュニティホスピタル	職員に寄り添う健康経営を目指して
105-5	井本 早紀	事務職	富山県	清幸会	災害時の初動対応整備と BCP 意識向上を目指した取り組み
105-6	中西 祥子	看護師	静岡県	西山病院グループ	人材を組織の資産へ！コンピテンシー評価制度と歩調を合わせた階層別内部研修の軌跡

106 11月20日（金） 10:00～11:00 経営管理全般②

【座 長】中村吉孝 福岡輝栄会病院 理事長 医師

【評価者】草野謙二 原病院 リハビリテーション部 係長 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
106-1	権田 翔子	看護師	福岡県	原病院	慢性期病棟における災害時避難対応～アンケートからみる認識把握と認識を～
106-2	徳嶋 慎太郎	理学療法士	兵庫県	神戸平成病院	リハビリテーション職員における職場推奨度とウェルビーイングの関連
106-3	今村 香織	事務職	鹿児島県	加治木温泉病院	地域需要分析に基づく 2040 年を見据えた病院機能再編構想の検討
106-4	江川 栄輔	事務職	和歌山県	宇都宮病院	令和の病院建替え事情～建設費高騰時代を乗り越えた 80 床慢性期病院の実践～
106-5	太田 朱音	管理栄養士	島根県	安来第一病院	食材のコスト削減への取り組みによる経営改善への貢献を考える
106-6	今村 祐太	事務職	福岡県	高良台コミュニティホスピタル	二要素認証システム導入における認証方式の選択について

107 11月20日（金） 11:00～11:50 経営管理全般③

【座 長】田中修 加藤病院 法人本部 専務理事 事務職

【評価者】吉田良子 新栄会病院 リハビリテーション課 リーダー 作業療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
107-1	大森 紀夫	看護師	鳥取県	養和病院介護医療院	法人戦略に基づく持続可能な介護医療院経営～質と経営を両立する組織マネジメントの実践～
107-2	和田 純治	医師	大分県	和田病院	地域医療構想による病院変革の検討(医療療養病床から回復期病床への一部病床機能転換の検討)
107-3	岡野 大介	社会福祉士	山口県	光風園病院	法人全体で取り組んだ病床稼働率向上への実践報告
107-4	沖田 聡嗣	看護師	滋賀県	琵琶湖養育院病院	地域医療構想を見据えた高医療依存度慢性期ケアモデルの検討 長期人工呼吸器患者を支える急性期後方支援機能
107-5	川口 雄生	事務職	山口県	光風園病院	当法人はなぜ選ばれたのか―採用者の声から考える採用活動の振り返り―